

マルチコントロール オーディオマスター

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書および別冊の「取り付けと接続」には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書および別冊の「取り付けと接続」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



MDLP

WX-5500MDX



警告

安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあります。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

この取扱説明書および別冊の「取り付けと接続」の注意事項をよくお読みください。

道路交通法に従って安全運転する

運転者は道路交通法に従う義務があります。前方注意をおこたるなど、安全運転に反する行為は違法であり、事故やけがの原因となることがあります。

- 運転者は走行中に操作をしない。
- 車外の音が聞こえる程度の音量で聞く。

定期的に点検する

1年に1度は、電源コードに傷みがないか、振動により配線がはずれていないか、接続部分が車体と接触していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口にて修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、
煙が出たら



- ① 安全な場所に車を止める
- ② 電源を切る
- ③ お買い上げ店またはソニーサービス窓口にて修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および「取り付けと接続」、製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。



注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災



感電



指挟み

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止

目次

⚠ 警告・⚠ 注意	4
MDの取り扱い	6
CDの取り扱い	7
はじめに	8
まず、本機をリセットする	9
CD/MD・ラジオの聞きかた	10
各部のなまえ	12
カードリモコン(別売り)の操作	14
時計を合わせる	16

CD・MD

CD/MDを聞く	17
繰り返し聞く(リピート再生)	21
曲順を変えて聞く (シャッフル再生)	22
ディスクに名前をつける(カスタム ファイル- ディスクメモ)	23
CDの聞きたい曲だけを聞く (カスタムファイル- バンク)	25
ディスクを名前で探す(リスト)	27

ラジオ

放送局を自動で登録する	28
放送局を手動で登録する	32
放送局に名前をつける (ステーションメモ)	33
放送局を名前で探す(リスト)	35

テレビ・ビデオ

別売りのテレビを見る	36
別売りのビデオを見る	38
映像を見ながらディスクを聞く (サイマルプレイ)	39

携帯電話

電話をかける	40
電話を受ける	42
その他の操作	43
その他の設定	44

サウンドの設定

DSOを設定する	45
イコライザーを使う(EQ7)	48
音のバランスや音質を設定する (バランス)(ATT) (ソースサウンドメモリー)	50
リスニングポジションを設定する (POS)	51
スピーカーの出力を設定する	53
サブウーファー(モノラル)の出力 を設定する	55

その他の操作

スペクトラムアナライザーを選ぶ (SA)	57
音や表示などの設定を換える	58
ワイヤレスロータリーコマンド (別売り)の操作	60

使用上のご注意	62
故障かな?	64
保証書とアフターサービス	69
主な仕様	69
索引	71



下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

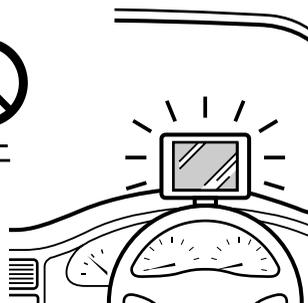
取り付けはお買い上げ店に依頼する本機の実取り付けには専門知識が必要です。

万一、ご自分で取り付けるときは、別冊の「取り付けと接続」の説明に従って、正しく取り付けてください。正しい取り付けをしないと、火災や感電の原因となります。



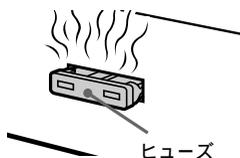
内部に水や異物を落とさない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



規定容量のヒューズを使う

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記された規定容量のアンペア数のものをお使いください。規定容量を越えるヒューズを使うと、火災の原因となります。



前方の視界を妨げる場所に、ディスプレイやモニターを取り付けない

前方の視界の妨げになると、事故やけがの原因となります。また、取り付ける場所が、助手席用エアバッグシステムの動作の妨げにならないことを確認してください。

分解や改造をしない

火災や感電、事故の原因となります。

内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。



分解禁止





下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり**自動車に損害**を与えたりすることがあります。

ディスク挿入口に手を入れない
内部で手をはさまれ、けがの原因となることがあります。



指挟み

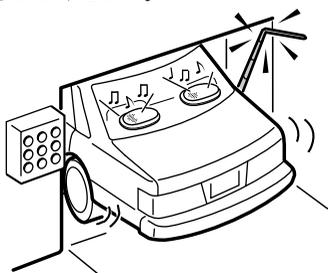


アンテナの高さより低い場所(駐車場や洗車機など)へ入るときはラジオを止める

ラジオの受信中はパワーアンテナが自動的に上がります。低い場所へ入るときは、必ずラジオ以外のソースに切り換えるか、OFFボタンを押してアンテナが下がったことを確認してください。



禁止



ACCポジションのないお車のときはOFFボタンを2秒以上押し続けて時計表示を消してください。OFFボタンを短く押しただけでは時計表示が消えず、バッテリーあがりの原因となります。

ワイヤレスロータリーコマンダーに付属のストラップを使用する

ハンドル付近に取り付けるときは、ネジ止めの後必ずストラップを本機に付けてお使いください。ストラップを使用しないと、運転中、ロータリーコマンダーがブレーキの下などに落下して運転の妨げになり、事故やけがの原因となります。



禁止



MDの取り扱い

MD自体はカートリッジに収納されていますので、ゴミや指紋を気にせず手軽に取り扱えるようになっていきます。ただし、カートリッジのよごれやそりなどが、誤動作の原因になることもあります。いつも美しい音で楽しめるように次のことにご注意ください。

良い音で聞くために車内でカップホルダーなどをお使いになるときは、不意の振動などでジュースなどがこぼれて、MDソフトにかからないように充分ご注意ください。そのままMDを再生すると故障の原因になります。



MD内部に直接触れないシャッターを手であけないでください。無理にあけるとこわれます。本機から取り出したときなどに万一シャッターが開いてしまった場合は、すぐに閉めてください。



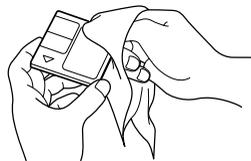
保存

直射日光が当たるところなど高温の場所、湿度の高いところには置かないでください。特に夏季、直射日光下で窓を開め切った車のシート、ダッシュボードの上などはかなりの高温になりますので、絶対に放置しないでください。



お手入れ

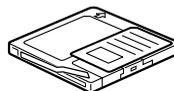
カートリッジ表面についたホコリやゴミなどを乾いた布でふき取ってください。



ラベルを貼るときのご注意

ラベルは、カートリッジに正しく貼られていないと、MDが本機から取り出せなくなることがあります。

- 指定の場所に貼ってください。



- 重ねて貼らないでください。



- ラベルがめくれたり、浮いているときは新しいラベルに貼り換えてください。



CDの取り扱い

ディスクの汚れや、ゴミ、キズ、そりなどが、音とびなど誤動作の原因となることがあります。いつまでも美しい音で楽しめるように、次のことにご注意ください。

取り扱いかた



記録面に触れないように持つ。



禁止



ディスクに紙などを貼らない。
キズをつけない。

こんなディスクは使わないでください
本体内部にディスクが貼り付いて故障の原因となったり、大切なディスクにもダメージを与えることがあります。

- 中古やレンタルCDでシールなどののりがはみ出したり、シールをはがしたあとにのりが付着しているもの
またラベル面に印刷されているインクにべたつきのあるもの
- レンタルCDでシールなどがめくれているもの
- お手持ちのディスクに飾り用のラベルやシールを貼ったもの



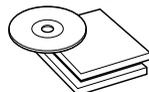
本機では円形ディスクのみお使いいただけます。円形以外の特殊な形状(星形やハート形、カード型など)をしたディスクを使用すると、本機の故障の原因となることがあります。

保存

ディスクケースまたはマガジンに入れ、直射日光が当たるところなど高温の場所、湿度の高いところを避けて保管してください。

特に夏季、直射日光下で閉め

きった車のシート、ダッシュボードの上などはかなりの高温になりますので、絶対に放置しないでください。



お手入れ

演奏する前に、演奏面についてホコリやゴミ、指紋などを市販のクリーニングクロスで矢印の方向へふきとってください。

ベンジン、アナログ式レコード盤用のクリーナーは使用しないでください。

静電気防止剤なども、逆にディスクを傷めることがありますので、使用しないでください。



CD-R/CD-RWについて

- 本機はお客様が編集された音楽用*のCD-R(レコーダブル)およびCD-RW(リライタブル)ディスクを再生することができます。ただし、録音に使用したレコーダーやディスクの状態によっては再生できない場合があります。
- ファイナライズ処理(通常のCDプレーヤーで再生できるようにする処理)をされていないCD-RおよびCD-RWディスクは再生できません。

* 音楽用CD-RおよびCD-RWディスクには下記のマークが印刷されています。



下記のマークが印刷されているディスクは、音楽用CD-RおよびCD-RWではありません。



禁止



はじめに

- 本機1台でCD/MD、ラジオの3メディアに対応。
- 長時間録音したMDを再生できるMDLP機能搭載。
 - MDLP録音したMDを再生するときは、ソニー製MDLP対応機器をお使いください。MDLP未対応のMD機器などで再生することはできません。
- 独自のバーチャル3D技術で音像を前方定位させるとともに、クリアな音質を実現するDSO(ダイナミック・サウンドステージ・オーガナイザー)機能搭載。
- 好みの音質に調整可能な7バンドイコライザー(EQ7)機能搭載。
- 運転感覚で操作できるワイヤレスロータリーコマンダー(別売り)に対応。

また、以下に記載した別売りの機器(ソニー製)も本機のボタンで操作できます。

- CDチェンジャー、MDチェンジャー
- テレビ、ビデオ
- 携帯電話用ハンズフリーユニットXCH-1000

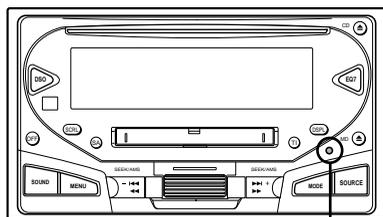
この取扱説明書では、本機の使いかたの他に、別売りのカードリモコンとワイヤレスロータリーコマンダー、別売りのソニー製CD/MDチェンジャーやテレビ、ビデオ、携帯電話用ハンズフリーユニットを接続した場合の操作方法についても説明しています。

まず、本機を リセットする

初めて使うときや、自動車のバッテリーを交換したとき、接続を変えたときは、リセットボタンをつま楊枝の先などで押してください。ただし、針のような物で強く押すと故障の原因となります。

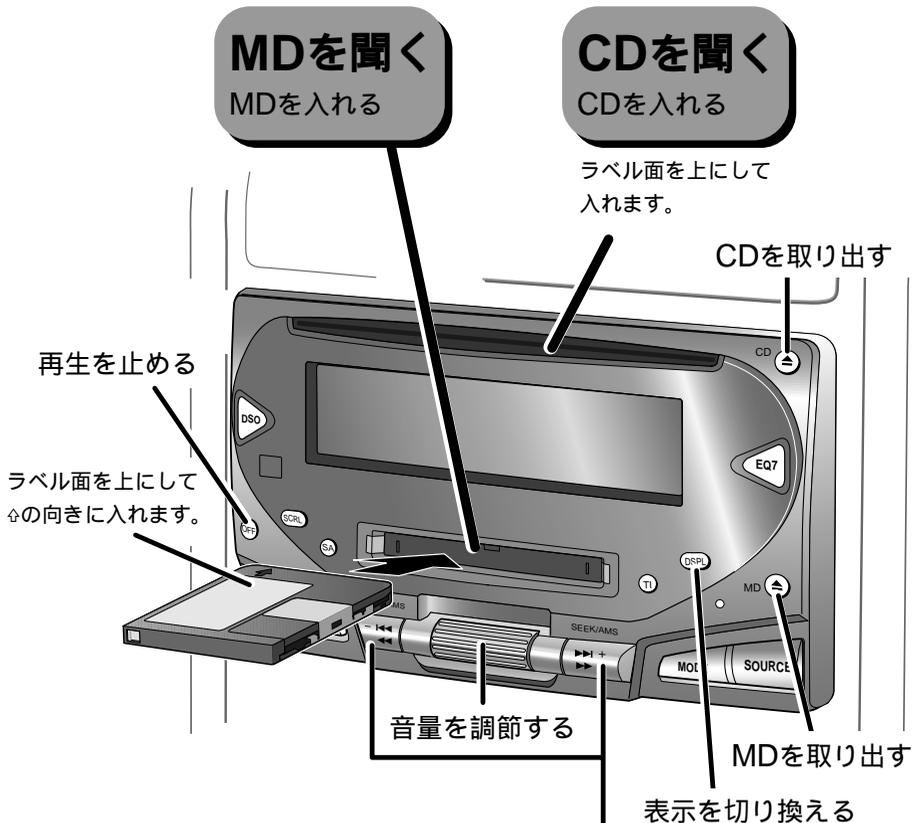
ご注意

- リセットボタンを押すと、時刻などの登録した内容が消えることがあります。その場合は、登録し直してください。
- リセットボタンを押してから約10秒間、本機は初期設定動作を行います。その間にCDまたはMDを入れると正常にリセットされないことがありますので、初期設定動作中はCDまたはMDを入れないでください。
- テレビのリセットボタンを押したときは、必ず本機のリセットボタンを押してください。
- リセットボタンを押したり、OFFボタンを押すと、自動的にデモンストレーションが表示されます。デモンストレーションを表示したくない場合は、Motion(モーションディスプレイ)をoffにしてください。(58~59ページ)



リセットボタン

CD/MD・ラジオの聞きかた



ディスクが入っているとき点灯します。

△ : MD ○ : CD

ディスクが入っているときは

SOURCE ボタンを押して「CD」または「MD」を選ぶと再生が始まります。

本機は8cmCDがそのまま再生できます。

8cmCDにシングルアダプターをつけて再生すると故障の原因になりますので使用しないでください。

曲の頭出し

再生中にSEEK/AMSボタンを押して離す。

▶▶▶▶ : 次の曲へ進む

◀◀◀◀ : 曲の頭や前の曲へ戻す
戻したい曲の数だけ押します。

聞きながら探す(サーチ)

再生中にSEEK/AMSボタンを押し続ける。

▶▶▶▶ : 先に進める

◀◀◀◀ : 前に戻す

指を離すと、そこから再生されます。

ラジオを聞く

自動選局で受信する(自動選局)

SEEK/AMSボタンを聞きたい放送局を受信するまで繰り返し短く押します。

▶▶▶▶ : 高い周波数へ

◀◀◀◀ : 低い周波数へ

希望の放送局を受信する(手動選局)

SEEK/AMSボタンを押し続け、聞きたい放送局の周波数になったところで離します。

▶▶▶▶ : 高い周波数の放送局を探す

◀◀◀◀ : 低い周波数の放送局を探す

1 ラジオ受信にする

交通情報を聞く

受信を止める

音量を調節する

3 聞きたい放送局を選ぶ

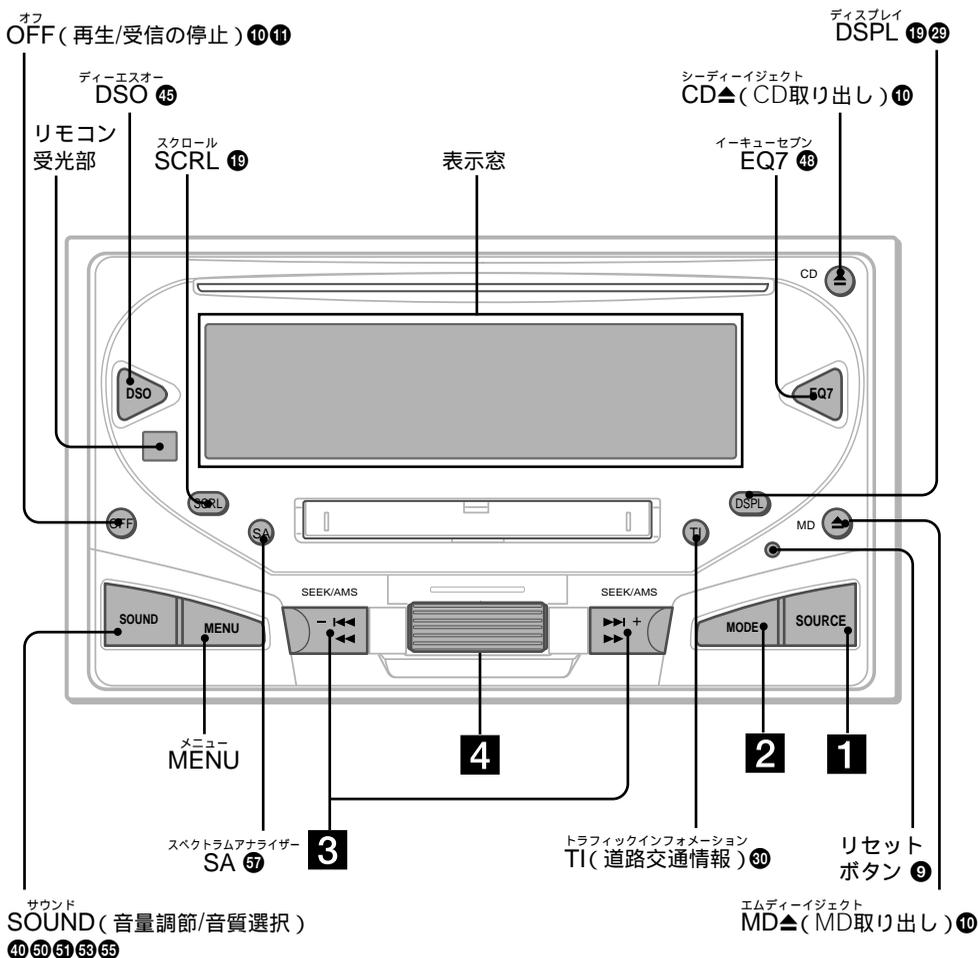
- ① 押ししてリスト表示にする
- ② 回して聞きたい放送局を選ぶ
放送局の登録についてくわしくは28~32ページをご覧ください。

2 聞きたいバンドを選ぶ

押すごとにFM ↔ AMと切り換わります。

各部のなまえ

くわしい説明は●内のページをご覧ください。



ACCポジションのないお車のときは、OFFボタンを2秒以上押し続けて時計表示を消してください。OFFボタンを短く押しただけでは時計表示が消えず、バッテリーあがりの原因となります。

1 ソース SOURCE (ラジオ/CD/MD/
TV・Video*³/TEL*³切り換え)

2 モード MODE

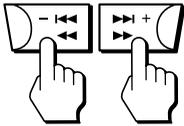
ラジオ FM/AM切り換え

MD MD機器選択*³

CD CD機器選択*³

TV*³ TV/Video切り換え

3 SEEK/AMS (頭出し/ラジオ選局/EQ/
POS/BAL/Front/Rear/Subの調整/設定
項目選択)



ラジオ 周波数の低い 周波数の高い
放送局へ 放送局へ
(押し続ける) (押し続ける)

CD/MD 前の曲へ 次の曲へ
早戻し 早送り
(押し続ける) (押し続ける)

TEL*³ 着信履歴 発信履歴

イコライザー
プリセット設定 前へ 次へ

リスニング
ポジション 前へ 次へ

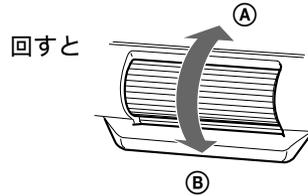
バランス 左へ 右へ

フロント 低く 高く

リア 低く 高く

サブウーファー
の出力設定 小さく 大きく

4 ジョグローラー (VOL/EQ/Clockの調整/
リスト表示/メニュー項目選択)



	(A)	(B)
音量調節	大きく	小さく

時刻の設定	進む	戻る
-------	----	----

イコライザー のレベル調整	大きく	小さく
------------------	-----	-----



ラジオ 放送局に名前をつける*¹/
一覧を見る

MD 一覧を見る*³

CD 名前をつける*^{1, 2}/一覧を見る*³

TV*³ 放送局に名前をつける*¹/
一覧を見る

*¹ 2秒以上押し続けたとき

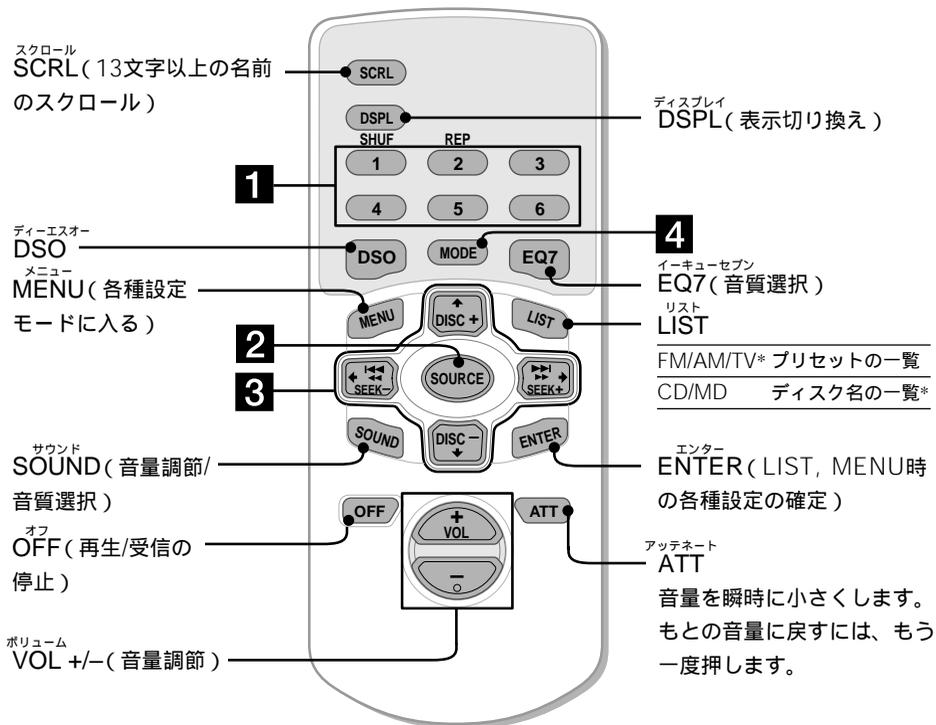
*² カスタムファイル対応のCD機器が接続されて
いる場合

*³ 別売りの機器が接続されているとき

カードリモコン(別売り)の操作

本機のボタンと同じ操作は、カードリモコンで行うことができます。

安全のため、カードリモコンの操作は運転者以外の同乗者が行うか、車を安全な所に止めてから行ってください。



ちょっと一言

リチウム電池の交換のしかたについては「使用上のご注意」(62ページ)をご覧ください。

1 数字(1~6)ボタン

ラジオ 放送局の登録 / 選択

TV* チャンネルの登録 / 選択

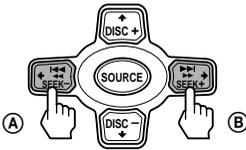
プリセット7~10は、リモコンでは上記の操作ができません。

2 ^{ソース}SOURCE (ラジオ/CD/MD/

TV・Video*/TEL*切り換え)

3 ^{シーク/エーエムエス}カーソル←/→ (SEEK/AMS)

(頭出し/ラジオ選局/設定選択)



A

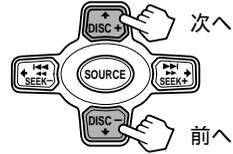
B

ラジオ	周波数の低い 放送局へ (押し続ける)	周波数の高い 放送局へ (押し続ける)
-----	---------------------------	---------------------------

CD/MD	前の曲へ	次の曲へ
-------	------	------

TEL*	着信履歴	発信履歴
------	------	------

ディスク/プリセット
カーソル↑/↓ (DISC/PRESET)
(プリセットサーチ/ディスク選択/メニュー項目選択)



ラジオ/TV* 登録した局の選局

CD/MD ディスクの選択
(チェンジャー接続時)

メニュー項目選択時に2秒以上押し続けると、メニュー項目のカテゴリーをスキップすることができます。

4 ^{モード}MODE

ラジオ FM/AM切り換え

CD/MD* CD/MD機器選択

TV* TV/Videoの切り換え

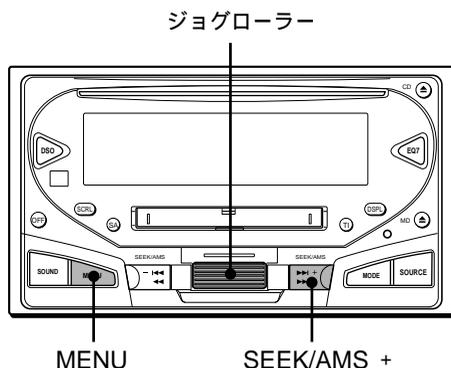
* 別売りの機器が接続されているとき

ご注意

本体またはカードリモコンやワイヤレスロータリーコマンドのOFFボタンを2秒以上押し続けて時計表示を消してある場合は、カードリモコンまたはワイヤレスロータリーコマンドで本機を操作できません。操作できるようにするためには、まず本体のSOURCEボタンを押すか、ディスクを挿入して本機の電源を入れてください。

時計を合わせる

本機は12時間表示です。



ちょっと一言

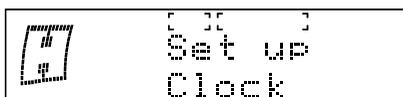
Motion offまたはMotion 1時、D.Info機能を「on」に設定すると、再生中や受信中は常時計が表示されません(58~59ページ)。

ご注意

ACCポジションのないお車のときは、SOURCEボタンを押すかディスクを挿入して本機の電源を入れてから、時計を設定してください。

1 MENUボタンを押す。

2 ジョグローラーを回して「Clock」を選ぶ。



3 ジョグローラーを押す。



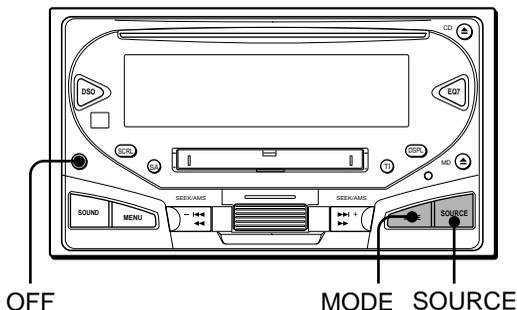
- 1 ジョグローラーを回して「時」を合わせます。
- 2 SEEK/AMSボタンの+を押して「分」の位置に移動し、ジョグローラーを回して「分」を合わせます。
ジョグローラーを下に回すと数値が戻り、ジョグローラーを上に戻すと数値が進みます。

4 設定後、ジョグローラーを押す。

設定時刻が登録され、通常画面に戻ります。

CD/MDを聞く

本機の他に別売りのソニー製CD/MD機器を接続して、CDやMDを再生できます。本機またはCD TEXT対応のCD機器を接続してCD TEXT対応のディスクを再生中に、その文字情報(アルバム名、アーティスト名、曲名など)を表示することができます。



CD TEXTとは

アルバム名、アーティスト名、曲名などの文字情報を記録した音楽CDの呼称です。

*1 別売りのソニー製CD/MD機器が接続されている場合のみ表示します。

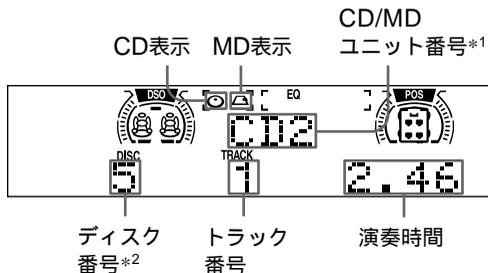
*2 別売りのソニー製CD/MDチェンジャー内のディスクを再生中のみ表示します。

ご注意

MDLP録音したMDを再生するときは、ソニー製MDLP対応機器をお使いください。MDLP未対応のMDチェンジャーなどで再生することはできません。

聞きたい機器を選ぶ

- 1 SOURCEボタンを繰り返し押し、「CD」または「MD」を選ぶ。



- 2 再生中にMODEボタンを繰り返し押し、聞きたいCD/MD機器(本機または別売りのソニー製CD/MD機器)を選ぶ。

CDの場合

CD1(本機) → CD2(CD機器1)*1 →
CD3(CD機器2)*1 → ... → CD1 →

MDの場合

MD1(本機) → MD2(MD機器1)*1 →
MD3(MD機器2)*1 → ... → MD1 →

再生をやめるには

別のソースに切り換えるか、OFFボタンを押します。

CD/MDを聞く(つづき)

ご注意

- CD TEXTで極端に文字数が多く入っている場合、すべての文字を表示しないことがあります。
- ディスク名のリスト画面には、次の表示が出る場合があります。
 - 「NO Disc」: ディスクが入っていない。
 - 「*****」:
 - 名前をつけていない。
 - CD TEXT対応の機器でCD TEXTでないCDを再生したとき。
 - 「????????」: ディスク情報を読み込んでいない。
- リスト表示中、5秒以上ジョグローラーを操作しないと、通常の画面に戻ります。

CD/MDチェンジャー内の聞きたいディスクを選ぶには

- 1 CD/MDチェンジャー内のディスクを再生中に、ジョグローラーを押してリスト表示にする。
- 2 ジョグローラーを回して聞きたいディスクを選ぶ。
- 3 ジョグローラーを押す。
再生が始まります。

ディスク名の登録方法については、「ディスクに名前をつける」(23ページ)をご覧ください。

聞きたい曲を選ぶには

再生中にSEEK/AMSボタンの+または-を繰り返し押し。

次の曲または前の曲に1曲ずつ切り換わります。

曲の聞きたいところにするには

再生中にSEEK/AMSボタンの+または-を押し続けて、聞きたいところで離す。

ディスクの先頭または終わりに来ると

「LLLL LLLL」または「MMMM MMMM」が表示され、それ以上前または先に進めることはできません。

ちょっと一言

- Motion1または2にしている場合(58~59ページ)は、DSPLボタンを押して表示を切り換えた約10秒後にモーションディスプレイモードになります。
- 本機ではMDやCD TEXTに記録されているディスクノアーティスト名や曲名などはアルファベットと数字、記号、カタカナのみ表示できます。
- 漢字、ひらがなのみ入力されたMDを再生した場合は「NO D.Name」または「NO T.Name」と表示されます。

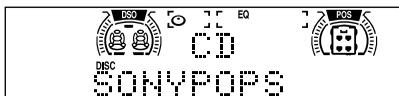
ご注意

- Motionまたはスペクトラムアナライザーの設定によっては、ソース名、ディスク名、曲名、再生経過時間などを表示しないことがあります。
- CD TEXTで極端に文字数が多く入っている場合、すべての文字を表示しなかったりスクロールしないことがあります。

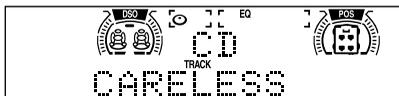
表示窓の見かた

再生中にDSPLボタンを繰り返し押し表示を切り換えます。

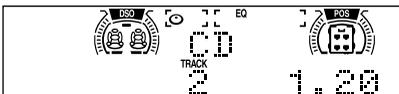
CD TEXT対応ディスクの再生の場合



ディスク名/
アーティスト名*1*2



曲名*3(MDと
CD TEXTのみ)



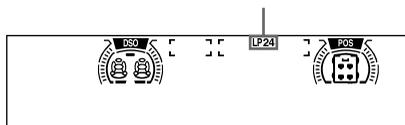
曲番号と
再生経過時間

- *1 ディスク名がついていない時は「NO D.Name」と一瞬表示された後、再生経過時間表示になります。
- *2 CD TEXTにディスクメモ機能(23ページ)で名前をつけてあるときは、ディスクメモの名前を表示します。
- *3 曲名がついていないときは「NO T.Name」と一瞬表示された後、再生経過時間表示になります。

MDLP表示について

録音モードにより、MD再生時の表示が換わります。

LP2 : LP2ステレオ再生時
LP4 : LP4ステレオ再生時



長い名前(13文字以上)を見るには

CD TEXTまたはMDの再生中に、SCRLボタンを押します。

CD/MDを聞く(つづき)

ご注意

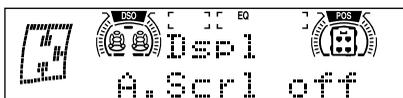
- 曲名のオートスクロールは、DSPLボタンを押して曲名表示をしているときだけです。
- ディスク名のオートスクロールは、DSPLボタンを押してディスク名表示をしているときだけです。

オートスクロールの設定

MDまたはCD TEXT対応CDを再生している場合は、ディスクまたは曲が切り換わったときにディスク名、曲名およびアーティスト名が自動的に表示されます。この設定を「on」にすると13文字以上のディスク名および曲名を自動的にスクロールさせることができます。

1 CDまたはMDの再生中にMENUボタンを押す。

2 ジョグローラーを回して「A.Scrl」を表示させる。



3 SEEK/AMSボタンの+を押して「on」を選ぶ。

4 ジョグローラーを押す。

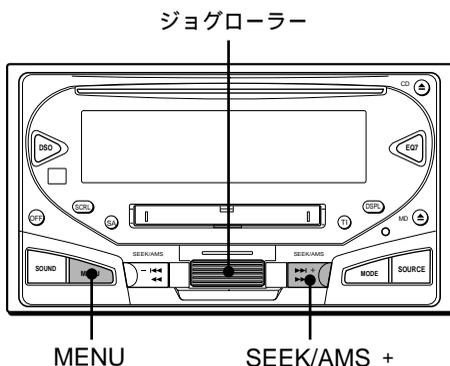
通常の画面が表示されます。

オートスクロールを解除するには
手順3で「off」を選びます。

繰り返し聞く

(リピート再生)

再生中の曲のみ、またはディスク内の全曲を繰り返し聞くことができます。



- 1 CDまたはMDを再生する。
- 2 MENUボタンを押し、ジョグローラーを回して「Repeat」を表示させる。
- 3 SEEK/AMSボタンの+を繰り返し押して、聞きたい設定を選ぶ。

押すごとに、表示は次のように切り換わります



- 1曲のみ繰り返し 「Repeat 1」にする。
- 再生しているディスクを繰り返し 「Repeat 2」*にする。

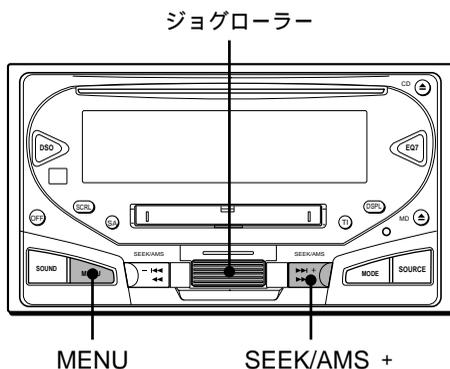
* ソニー製CD/MDチェンジャー接続時のみ表示されます。

リピート再生をやめるには
手順3で「Repeat off」を選びます。

曲順を変えて 聞く

(シャッフル再生)

再生中のディスク内の全曲、またはチェンジャー内の全ディスクの曲順を変えて聞くことができます。



- 1 CDまたはMDを再生する。
- 2 MENUボタンを押し、ジョグローラーを回して「Shuffle」を表示させる。
- 3 SEEK/AMSボタンの+を繰り返し押し、聞きたい設定を選ぶ。

押すごとに、表示は次のように切り換わります。



- 再生しているディスクの全曲を順不同に再生するには 「Shuffle 1」にする。
- 再生しているチェンジャー内の全ディスクを順不同に再生するには 「Shuffle 2」*にする。
- 再生しているソース(CDまたはMD)のすべての機器の全ディスクを順不同に再生するには 「Shuffle all」*にする。

* CD/MDチェンジャー接続時のみ表示されます。

ちょっと一言

「Shuffle 2」「Shuffle all」では、同じ曲が2度以上再生されることがあります。

ご注意

「Shuffle all」でCDとMDを混ぜてシャッフル再生することはできません。

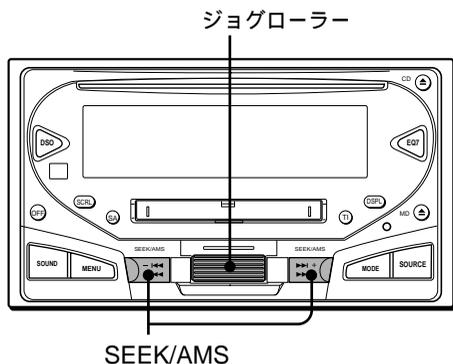
シャッフル再生をやめるには
手順3で「Shuffle off」を選びます。

ディスクに名前をつける

(カスタムファイル
- ディスクメモ)

カスタムファイルとは？

CDソフトのタイトル名を登録・表示する機能です。別売りのカスタムファイル対応のCDチェンジャー(ソニー製)を接続すると、CDに8文字までの名前をつけられ、ディスクメモ、バンク、リスト機能を楽しむことができます。



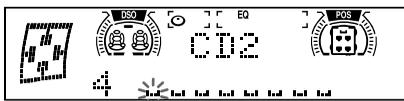
ご注意

CDの名前は、カスタムファイル対応のCDチェンジャーに登録されます。カスタムファイル非対応のCDチェンジャーを接続した場合、ディスクメモ、バンク、リスト機能を操作することはできません。

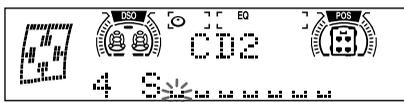
ちょっと一言

- 「**Wait**」: データの読み込みが終了するまで表示されます。
- 文字をあげたいときは、「 」(下線)を入力します。
- 文字入力を間違えたときはSEEK/AMSボタンの-を押して修正したい文字を点滅させ、正しい文字を入れ直します。
- メニューのName Editから操作することもできます。

- 1 CDを再生中にジョグローラーを2秒以上押し続ける。



- 2 ジョグローラーを回して入力する文字を選び、SEEK/AMSボタンの+を押して次の文字に移動させる。



ジョグローラーを上に戻すと

A → B → C → ... Z → 0 → 1 → 2 → ... 9 → + → - → * → / → \ → → → → →

と変わります。ジョグローラーを下に戻すと、逆順に表示されます。

スペースを入れたいときは、続けてSEEK/AMSボタンの+を押します。

- 3 手順2を繰り返して、名前を入力し終わったらジョグローラーを押す。

通常の画面が表示されます。

ディスクに名前をつける(つづき)

ご注意

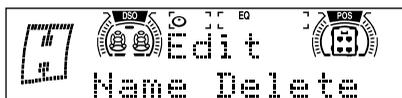
- 手順4では、CDチェンジャーのメモリーに保存されているすべてのディスクの名前が表示されます。
- 名前の消去は、名前が登録されているCDチェンジャーでCDを再生しないとできません。
- 「名前を消去するには」で消したい名前が見つからないときは、他のCDチェンジャーでCDを再生してください。

ちょっと一言

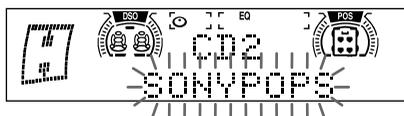
「ディスクに名前をつける」(23ページ)の手順2で、すべての文字に「 」(下線)を入力して名前を消すこともできます。

名前を消去するには

- 1 CDチェンジャー内のCDを再生中にMENUボタンを押す。
- 2 ジョグローラーを回して「Name Delete」を表示させる。



- 3 ジョグローラーを押す。



- 4 ジョグローラーを回して消去するディスクの名前を選ぶ。
- 5 ジョグローラーを2秒以上押し続ける。
選択したディスクの名前が消去されます。
ほかのディスクの名前を消すときは手順4、5を繰り返します。
- 6 MENUボタンを2回押す。
通常の画面が表示されます。

CDの聞きたい曲だけを聞く

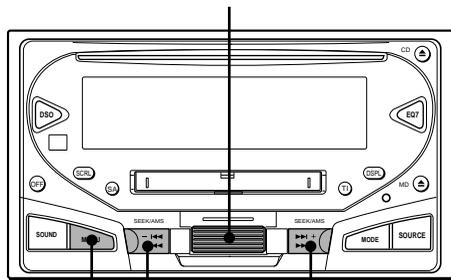
(カスタムファイル - バンク)

聞きたくない曲をとばして、お気に入りの曲だけを再生します。この機能を使うのは、別売りのソニー製CD機器を接続してディスクメモ機能(23ページ)で名前をつけたCDのみです。

ご注意

- 「Skip」の設定は1枚のCDで24曲目までできます。
- 「Skip」を全曲に設定して、ディスクを丸ごととばすことはできません。

ジョグローラー

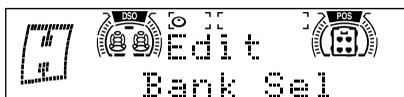


MENU

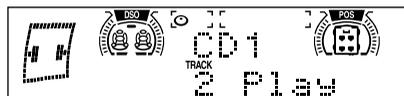
SEEK/AMS

とばす曲を指定する

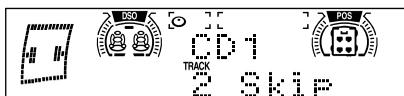
- 名前をつけたCDを再生する。
- MENUボタンを押す。
- ジョグローラーを回して「Bank Sel」を選ぶ。



- ジョグローラーを押す。



- SEEK/AMSボタンの+または-を押してとばしたい曲の番号を表示させて、ジョグローラーを押す。



表示が「Play」(再生する)から「Skip」(とばす)に変わります。「Play」に戻すときは、もう1度ジョグローラーを押します。

次のページへつづく

CDの聞きたい曲だけを聞く(つづき)

6 手順5を繰り返して、とばす曲全部に「Skip」を設定する。

7 MENUボタンを2回押す。
通常の画面が表示されます。

曲をとばしながら聞く

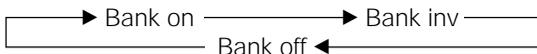
1 CDを再生中にMENUボタンを押す。

2 ジョグローラーを回して「Bank」を選ぶ。



3 SEEK/AMSボタンの+側を繰り返し押し、再生のしかたを選ぶ。

押すごとに、表示は次のように切り換わります。



「Play」(再生する)を設定した曲だけ再生する
.....「Bank on」にする。

「Skip」(とばす)を設定した曲だけ再生する
.....「Bank inv」にする。

ちょっと一言

Bank再生中は次のような表示になります。

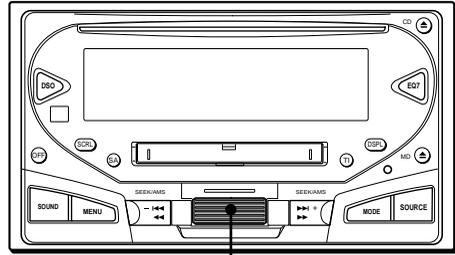
- 「Bank on」:
“BANK”点灯
- 「Bank inv」:
“BANK”点滅

バンク再生をやめるには
手順3で「Bank off」を選びます。

ディスクを名前 で探す (リスト)

次の場合に名前を見ながら好きなディスクを選ぶことができます。

- 別売りのソニー製MDチェンジャーで名前の記録されているMDを再生する場合
 - 別売りのCD TEXT対応のソニー製CDチェンジャーでCD TEXTディスクを再生した場合
 - 別売りのカスタムファイル対応のソニー製CDチェンジャーを接続した場合
- CDについてはディスクメモ機能(23ページ)で名前をつけてからこの機能をお使いください。



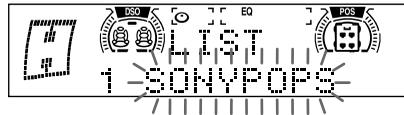
ジョグローラー

ご注意

- ディスク名のリスト画面には、次の表示が出ることがあります。
 - 「NO Disc」: ディスクが入っていない。
 - 「*****」:
 - 名前をつけていない。
 - CD TEXT対応の機器でCD TEXTでないCDを再生したとき。
 - 「????????」: ディスク情報を読み込んでいない。
- CD TEXTで極端に文字数が多く入っている場合、すべての文字を表示しないことがあります。
- ワイヤレスロータリーコマンダーでは操作できません。

- 1 CD/MDチェンジャー内のディスクを再生中にジョグローラーを押す。

ディスク名のリストが表示されます。



- 2 ジョグローラーを回して聞きたいディスク名を表示させる。

- 3 ジョグローラーを押す。

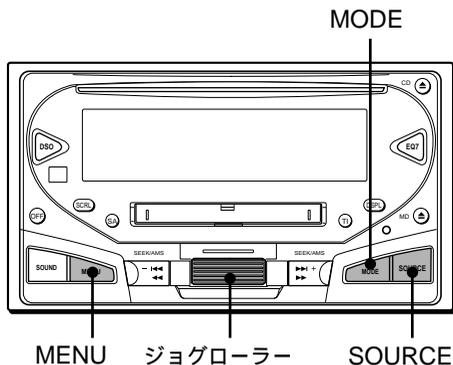
再生が始まります。

別売りのカードリモコンで操作するには

- 1 再生中にLISTボタンを押す。
- 2 ↑/↓ボタンを押してディスクを選ぶ。
- 3 ENTERボタンを押す。

放送局を自動で登録する

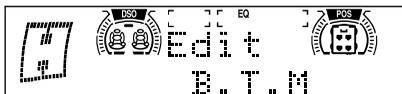
受信状態の良い放送局を自動的に登録することができます。FM(TV1~3チャンネル)またはAMのバンドでそれぞれ10局ずつ登録できます。



ご注意

- 放送局の数が少ない場合や電波が弱いときは、登録されないことがあります。
- 表示窓に登録番号が表示されていたときは、それ以降のプリセットチャンネル放送局が登録されます。

- 1 SOURCEボタンを押して、ラジオ受信にする。
- 2 MODEボタンを押して、「FM」または「AM」を選ぶ。
- 3 MENUボタンを押す。
- 4 ジョグローラーを回して「B.T.M」を表示させる。



- 5 ジョグローラーを押す。

「B.T.M」(ベストチューニングメモリー)が点滅表示され、選んだバンドの中で受信状態の良い放送局が周波数の順に登録されます。

登録が終わると通常の表示に戻ります。

ちょっと一言

放送局の名前の登録のしかたについては、33ページをご覧ください。

ちょっと一言

Motion1または2にしている場合(58~59ページ)は、DSPLボタンを押して表示を切り換えた約10秒後にモーションディスプレイモードになります。

ご注意

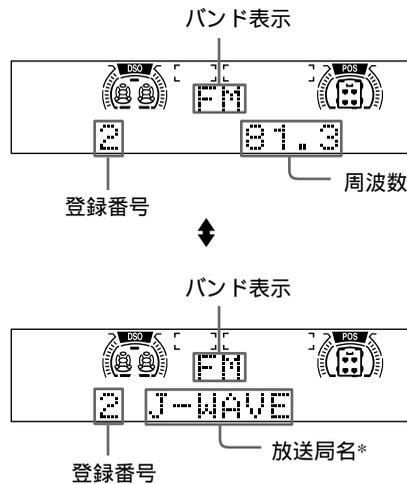
Motionまたはスペクトラムアナライザーの設定によっては、バンド表示、周波数、放送局名などを表示しないことがあります。

登録した放送局を聞くには

- 1 ラジオ受信中にジョグローラーを押して、リスト表示にする。
- 2 ジョグローラーを回して、開きたい放送局を表示させる。
- 3 ジョグローラーを押す。
選んだ放送局を受信します。

表示窓の見かた

ラジオ受信中にDSPLボタンを繰り返し押して表示を切り換えます。



* 名前が登録されている場合のみ表示します。

放送局を自動で登録する(つづき)

ちょっと一言

- SEEK/AMSボタンの+または-を押し続けて、希望の放送局の近くの周波数まできたら一度指を離し、短く一押ししていくと0.1MHz(または9kHz)ごとに送れます。
- ローカル受信中は、放送局を探している間「LCL Seek」と表示されます。

ちょっと一言

- 道路交通情報(AM 1620kHzまたは1629kHz)の放送地域内で聞くことができます。
- CD/MDの再生中でも切り換えることができます。

旅先などで、登録した放送局が受信できないときは

ラジオ受信中にSEEK/AMSボタンの+または-を押して離します。

自動的に放送局を探し始め、受信すると止まります。聞きたい放送局が受信できるまで繰り返します。

- 聞きたい放送局がわかっているときは、その放送局の周波数になるまでSEEK/AMSボタンの+または-を押し続けます。
- 自動選局がたびたび止まってしまうときは、ローカル受信にすると、比較的電波の強い放送局だけを受信します。
 - 1 ラジオ受信中にMENUを押し、ジョグローラーを回して「Local」を表示させる。
 - 2 SEEK/AMSボタンの+を押して、「Local on」にする。
 - 3 ジョグローラーを押す。

ふつうの受信に戻すには

手順2で「Local off」を選びます。

道路交通情報を聞くには (トラフィックインフォメーション)

本体のTIボタンを押します。(パワーアンテナが自動的に上がります。)

SEEK/AMSボタンを押すと、周波数(1620kHz/1629kHz)を切り換えることができます。

もとのソースに戻すには

もう一度TIボタンを押します。(パワーアンテナが自動的に下がります。)

ちょっと一言

FM放送が聞きにくいときは、DSO設定を「off」にすると聞きやすくなります(45ページ)。

ご注意

- IF Autoモードを「Wide」にして雑音が入り聞きにくい場合は、「IF Auto」に戻してください。
- FMステレオ放送受信時にDSO設定の「WIDE」や「WIDE-SP」を選択していると、電波状況の良くない場所で音量が変化して聞きづらくなる場合があります。この場合、DSO設定を「STD」にすると聞きやすくなります。

ステレオ放送が聞きにくいときは

ステレオ放送を受信すると「ST」と表示されます。放送が聞きにくいときは、音をモノラルにすると聞きやすくなります。

- 1 FM受信中にMENUボタンを押し、ジョグローラーを回して「Mono」を表示させる。
- 2 SEEK/AMSボタンの+を押して「Mono on」にする。
- 3 ジョグローラーを押す。

ふつうの受信に戻すには
手順2で「Mono off」を選びます。

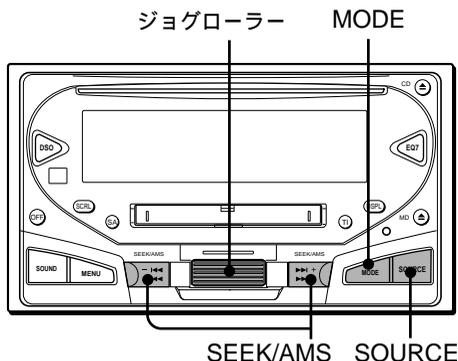
受信周波数帯域幅を自動的に調整する (IF Autoモード)

FM受信中、受信している周波数の近くに他の放送局があると、他の放送局の混信による雑音で放送が聞きにくくなる場合があります。この場合「IF Auto」に設定すると、受信する周波数帯域幅を自動的にせばめて放送を聞きやすくします。このためステレオ放送がモノラルになることがあります。このような場合でもIF Autoモードを「Wide」に固定するとステレオで聞くことができます。

- 1 FM受信中にMENUボタンを押す。
- 2 ジョグローラーを回して「IF Auto」を表示させる。
- 3 SEEK/AMSボタンの+を押して「Wide」を表示させる。
- 4 ジョグローラーを押す。

放送局を手動で登録する

好みの放送局を手動で登録することができます。



ちょっと一言

SEEK/AMSボタンの+または-を押し続けて希望の放送局の近くの周波数まで来たら一度指を離し、短く一押ししていくと、0.1MHz（または9kHz）ごとに送れます。

ご注意

すでに登録してある番号に同じバンドの他の放送局を登録すると、前の放送局の登録は消えてしまいます。

ちょっと一言

「FM」および「AM」のそれぞれに10局ずつ設定できます。

- 1 SOURCEボタンを押して、ラジオ受信にする。
- 2 MODEボタンを押して、「FM」または「AM」を選ぶ。
- 3 SEEK/AMSボタンの+または-を押し続けて、登録する局の周波数が表示されたところで離す。
- 4 ジョグローラーを押して、リスト表示にする。



- 5 ジョグローラーを回して、放送局を登録する番号を表示させる。

すでに登録されていた放送局が表示されます。



- 6 最後に「Memory」が表示されるまでジョグローラーを2秒以上押し続ける。

登録された受信中の放送局の画面が表示されます。

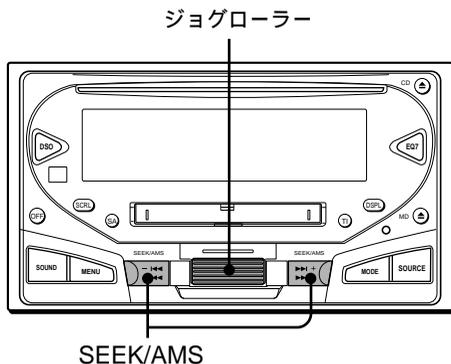
放送局に名前をつける

(ステーションメモ)

放送局に名前をつけると、受信中にその名前を表示することができます。最大62の放送局に、それぞれ8文字までの名前をつけられます。

ちょっと一言

- ジョグローラーを上に戻すと
A → B → C → ... Z →
0 → 1 → 2 → ... 9 →
+ → - → * → / →
\ → → → → →
と変わります。ジョグローラーを下に戻すと、逆順に表示されます。
- 文字を空けたいときは、「 」(下線)を入力します。
- 文字入力を間違えたときはSEEK/AMSボタンの-を押して修正したい文字を点滅させ、正しい文字を入力します。
- メニューのName Editから操作することもできます。



- 名前をつけたい放送局を受信する。
- ジョグローラーを2秒以上押し続ける。



- ジョグローラーを回して入力する文字を選び、SEEK/AMSのボタンの+を押して次の文字に移動させる。



スペースを入れたいときは、続けてSEEK/AMSボタンの+を押します。

- 手順3を繰り返して、名前を入力し終わったらジョグローラーを押す。

通常の画面が表示されます。



次のページへつづく

放送局に名前をつける(つづき)

ちょっと一言

「放送局に名前をつける」
(33ページ)の手順3で、すべての文字に「」(下線)を入力して名前を消すこともできます。

放送局の名前を消去する

- 1 ラジオ受信中にMENUボタンを押す。
- 2 ジョグローラーを回して「Name Delete」を表示させる。

- 3 ジョグローラーを押す。



- 4 ジョグローラーを回して消去する放送局名を表示させる。

- 5 ジョグローラーを2秒以上押し続ける。

選択した放送局名が消去されます。

その他の放送局名を消去するには、手順4～5を繰り返します。

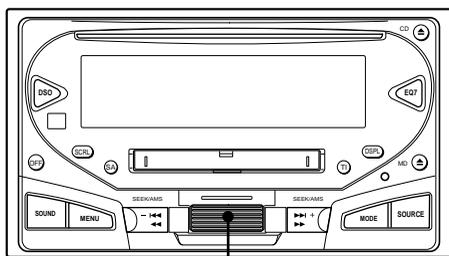
- 6 MENUボタンを2回押す。

通常の画面が表示されます。

放送局を名前で探す

(リスト)

放送局に名前をつけておくと、名前を見ながら放送局を探することができます。放送局に名前をつけるときは、33ページをご覧ください。



ジョグローラー

ご注意

ワイヤレスロータリーコンマ
ンダーでは操作できません。

- 1 ラジオ受信中にジョグローラーを押す。
登録されている放送局のリストが表示されます。



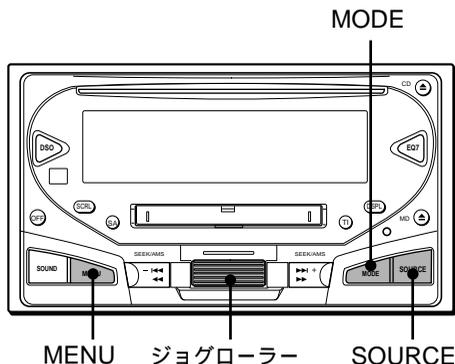
- 2 ジョグローラーを回して放送局名を選ぶ。
- 3 ジョグローラーを押す。
選局が終了すると通常の画面が表示されます。

別売りのカードリモコンで操作するには

- 1 ラジオ受信中にLISTボタンを押す。
- 2 ↑/↓ボタンを押して放送局を選ぶ。
- 3 ENTERボタンを押す。

別売りのテレビ を見る

テレビを見るには、別売りのソニー製TVチューナーユニットとソニー製TVモニターを接続してください。



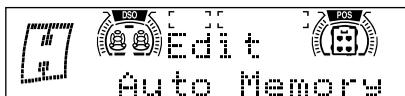
ちょっと一言

- あらかじめ受信できる放送局を登録すると、簡単にチャンネルを選ぶことができます。
- 最大10局まで登録できます。

* 表示はTVモニターの機種により異なります。

チャンネルを登録する

- 1 SOURCEボタンを押して、TVまたはAUX Video1にする。
- 2 MODEボタンを押して「TV」にする。
- 3 MENUボタンを押す。
- 4 ジョグローラーを回して「Auto Memory」を表示させる。



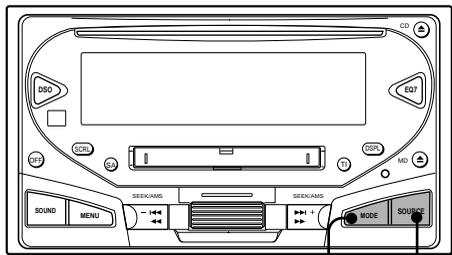
- 5 ジョグローラーを押す。
- 「Auto Memory」が点滅表示され、受信状態の良い放送局が周波数順に登録されます。
- TVモニターには「選局中」*などと表示されます。
- 登録が終了と通常の表示に戻ります。

操作のしかた

選びかた/探しかた	操作のしかた
チャンネルを選ぶには	テレビ受信中にジョグローラーを押ししてリスト表示にする。ジョグローラーを回して希望の放送局を表示させ、ジョグローラーを押しす。
強制的にモノラル受信するには	「ステレオ放送が聞きにくいときは」(31ページ)の操作をする。
副音声を聞くには	<ol style="list-style-type: none"> 1 TV受信中にMENUボタンを押しす。 2 ジョグローラーを回して「Main」または「Sub」を表示させる。 3 SEEK/AMSボタンの+を押しして「Sub」を選ぶ。 4 ジョグローラーを押しす。 通常の音声に戻すには手順3で「Main」を選ぶ。
特定のチャンネルを登録するには	<ol style="list-style-type: none"> 1 SOURCEボタンを押しして、TVまたはAUX Video1にする。 2 MODEボタンを押しして「TV」にする。 3 「放送局を手動で登録する」(32ページ)の手順3~6の操作をする。
テレビ局に名前をつけるには	「放送局に名前をつける」(33ページ)の操作をする(手順1では、「TV」を選ぶ)。

別売りのビデオ を見る

ビデオを見るには、お手持ちの車載用ビデオと別売りのソニー製TVチューナー、ソニー製TVモニターを接続してください。接続方法の詳細は、車載用ビデオデッキと別売りのソニー製TVチューナー、ソニー製TVモニターの取扱説明書をご覧ください。

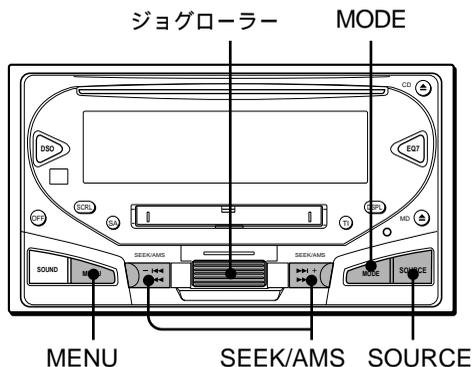


MODE SOURCE

- 1 SOURCEボタンを押して、TVまたはAUX Video1にする。
- 2 MODEボタンを押して「AUX Video1」を選ぶ。
- 3 ビデオデッキのボタンでビデオを再生する。

映像を見ながら ディスクを聞く

(サイマルプレイ)



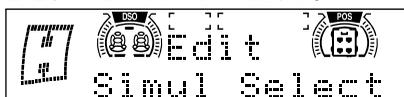
ご注意

- ラジオを聞きながらのサイマルプレイはできません。
- サイマルプレイ中は、放送局の一覧は表示できません。
- サイマルプレイ中は、テレビの操作はできません。

ちょっと一言

サイマルプレイ中、「AUX Video1」表示は「V1」となります。

- 1 TV受信中にMENUボタンを押す。
- 2 ジョグローラーを回して「Simul Select」を表示させ、ジョグローラーを押す。



- 3 SEEK/AMSボタンの - を押して音声を選ぶ。



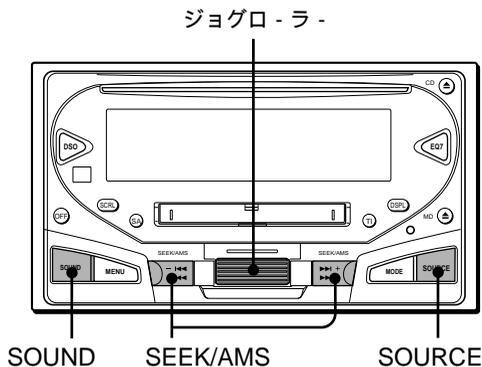
- 4 SOURCEボタンを押して、聞きたい音声（「CD」または「MD」）を選ぶ。
- 5 SEEK/AMSボタンの + を押して映像を選ぶ。
- 6 テレビまたはビデオを選ぶ。
 - ① SOURCEボタンを押して「TV」表示にする。
 - ② ビデオにしたい場合、MODEボタンを押して「V1」にする。

- 7 最後にジョグローラーを押す。
サイマルプレイが始まります。

サイマルプレイをやめるには
テレビまたはビデオを止めるには 手順6の①で「- -」を選びます。
CDまたはMDを止めるには 手順4で「- -」を選びます。

電話をかける

別売りのPDCハンズフリーユニットXCH-1000を接続すると、携帯電話を手持たずに通話することができます。相手の音声はカーオーディオのスピーカーから聞こえ、こちらの音声はサンバイザーマイクを通して相手に伝えられます。



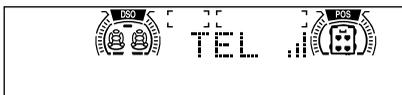
ご注意

- 携帯電話に登録されている名前は、アルファベットとカタカナ、数字のみ表示できます。また、小文字や記号は大文字に変換されたり、表示できない場合もあります。
- 電話側の登録可能件数に関わらず、本機では、携帯電話のプリセット番号000～299(001～300)に登録されているメモリのみを表示します。
- 携帯電話に300件全て登録されている場合は、アダプター接続後、全てを表示するのに、最大5分ほどかかります。
- 本機に表示される電波の強さは、携帯電話の表示とは一致しません。
- 次の表示の場合、電話がかけられません。
 - 「ケンガイ」:
圏外のとき
 - 「ハッシンフノウ」:
発信不能のとき
 - 「No Phone」:
電話が接続されていない
- 携帯電話からハンズフリーユニットを外すときは、本機のソースを「TEL」以外にしてください。「TEL」のまま外すと故障の原因となることがあります。

別売りのPDCハンズフリーユニットXCH-1000に対応する携帯電話に関しては、お買い上げ店にご相談ください。

1 SOURCEボタンを押して「TEL」表示にする。

2 ジョグローラーを回して、携帯電話に登録されている電話番号や相手の名前を選ぶ。



発信/着信履歴にある番号にかけるには SEEK/AMSボタンの+または-を押して履歴にある番号を探す。

発信/着信履歴の表示のしかたについては、43ページをご覧ください。

元の表示に戻りたいときは、SOUNDボタンを押してください。

3 ジョグローラーを押して発信する。



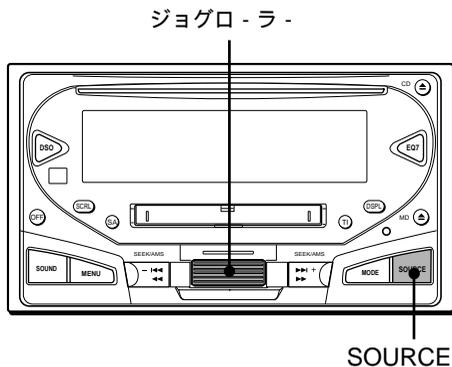
ちょっと一言

カードリモコンで操作する場合は、VOL +/- ボタンで相手先を検索してください。ENTER ボタンを押すと発信されます。

ワイヤレスロータリーコマンダーで操作するには

- 1 SOURCE ボタンを押して「TEL」表示にする。
- 2 VOL つまみを回して、携帯電話に登録されている電話番号や相手の名前を選ぶ。
- 3 VOL つまみを押して離すと自動的に発信する。

電話を受ける



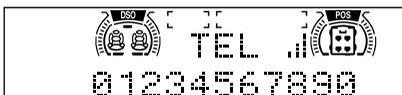
ちょっと一言

- カードリモコンのENTERボタンでも電話を受けることができます。
- ワイヤレスロータリーコマンダーで電話を受ける場合は、VOLつまみを押し離してください。

ご注意

表示される通話時間は厳密ではありません。目安としてください。

- 1 スピーカーと本機から着信音となり、自動的に「TEL」に切り変わる。



電話機の設定により相手の電話番号を表示します。



番号非通知のときは「Receive」と表示します。

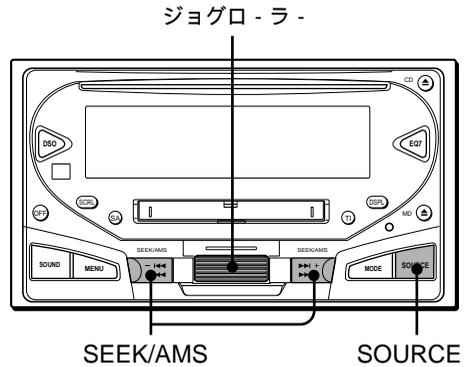
- 2 ジョグローラーを押す。



電話がつながると、通話時間が表示されます。

電話を受けずに元のソースに戻るには
手順1の次にSOURCEボタンを押します。

その他の操作



ご注意

- 次の場合、通話が途切れます。
SOURCEボタンやMODEボタンを押したとき
サービスエリア外や電波が届かない所へ移動したとき
- 携帯電話で通話する際は、ハンズフリーユニットから外さないでご使用になれません。
- 携帯電話をハンズフリーユニットから外すと、発信/着信履歴が消去されます。
- 送信側が非通知の設定になっていた場合、着信履歴は本機に登録されず、表示されません。

ちょっと一言

発信/着信履歴表示で「C-D」、「R-D」の後ろの番号(1~10)は発信/着信の順番を表します。

通話が終わったら

元のソースに戻るときは、SOURCEボタンを押す。
通話相手が電話を切ったときは、自動的に元のソースに戻ります。

受話器の音量を調節するには

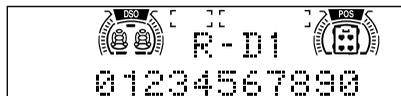
通話中はジョグローラーが音量の調節になります。ジョグローラーを回して希望の音量に調節してください。

発信・着信履歴を表示するには

SEEK/AMSボタンの+側を押すと発信履歴、-側を押すと着信履歴がそれぞれ最大10件まで呼び出せます。

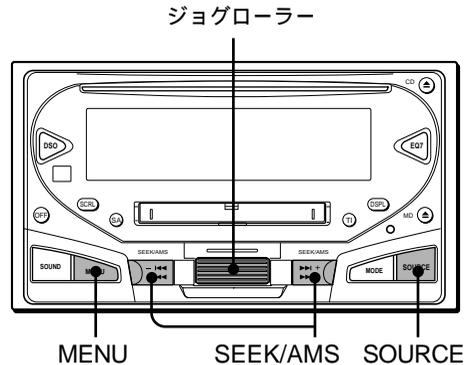


発信履歴表示



着信履歴表示

その他の設定



着信の設定

- 「チャクシン キョカ/キョヒ」→ 電話を受けられないようにする。(着信拒否設定)
- 「チャクシンオン アリ/ナシ」→ 本機の着信音(ピッ、ピッ、ピッ)をON/OFFする。(スピーカーからの着信音はOFFにできません)

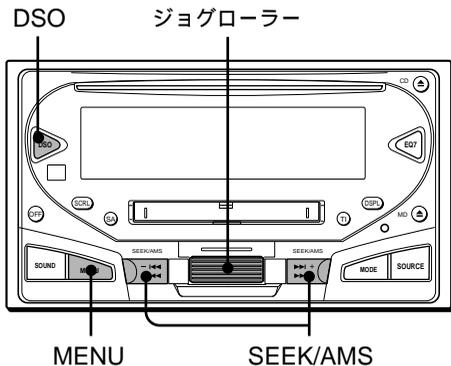
- 1 SOURCEボタンを押して「TEL」表示にする。
- 2 MENUボタンを押す。
- 3 ジョグローラーを回して設定したい項目を選ぶ。
- 4 SEEK/AMSボタンの+側を押して設定を選び、ジョグローラーを押す。

発信・着信履歴を消去する

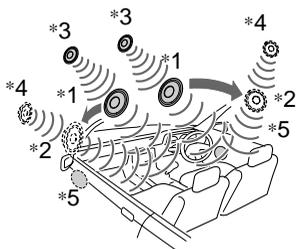
- 1 SOURCEボタンを押して「TEL」表示にする。
- 2 MENUボタンを押す。
- 3 ジョグローラーを回して「リレキ ショウキョ」を選び、ジョグローラーを2秒以上押し続ける。「クリア」が数秒間表示され、発信・着信履歴が消去されます。

DSOを設定する

スピーカーがドアの下部に設定されている場合は音が足元からこもって聞こえてきたり、左右の音が干渉して濁りがちです。そこでDSO(ダイナミック・サウンドステージ・オーガナイザー)機能により、あたかもダッシュボード上にスピーカー(バーチャルスピーカー)があるかのようにサウンドが鳴り響いてくる音場感を楽しめます。



バーチャルスピーカーのイメージ



- *1 STD
- *2 WIDE
- *3 STD-SP
- *4 WIDE-SP
- *5 off(実際のスピーカー(フロントドア下))

ちょっと一言

- FM放送が聞きにくいときは、DSO設定を「off」にすると聞きやすくなります。
- 車種やお聞きの曲により、DSOの効果がわかりにくい場合があります。

ご注意

FMステレオ放送受信時にDSO設定の「WIDE」や「WIDE-SP」を選択していると、電波状況の良くない場所で音量が変化して聞きづらくなる場合があります。この場合、DSO設定を「STD」にすると聞きやすくなります。

DSOを選ぶ

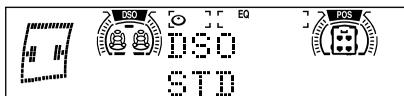
設定の種類	設定内容
STD	バーチャルスピーカー(スタンダード)
WIDE	バーチャルスピーカー(ワイド)
STD-SP	バーチャルスピーカー(スタンダードスペシャル)
WIDE-SP	バーチャルスピーカー(ワイドスペシャル)
off	DSO設定解除

1 設定したいソース(CD、MD、ラジオなど)を再生/受信する。

2 DSOボタンを繰り返し押し、DSOモードを選ぶ。押しごとに



と切り換わります。



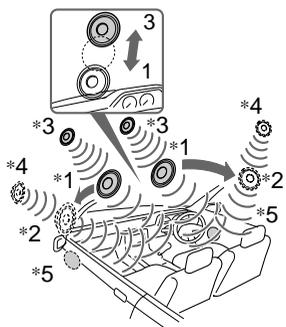
約3秒後に、通常の画面が表示されます。

DSOをやめるには

設定の手順2で「off」を選びます。

DSOを設定する(つづき)

効果の調節の目安



- *1 STD
- *2 WIDE
- *3 STD-SP
- *4 WIDE-SP
- *5 off (実際のスピーカー(フロントドア下))

ご注意

- DSOモードの「off」では、音像定位の調節はできません。
- 音像定位の調節をソースごとに設定することはできません。

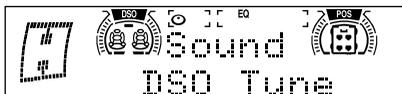
ちょっと一言

カードリモコンで手順7を操作するときは▲/▼ボタンを使います。

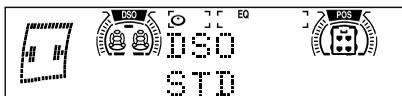
DSOの効果を上下に調節する

4種類のDSOモードには、それぞれの効果の強さを設定することができます。音像定位は1から3まで設定でき、値が大きくなるほど効果が大きくなります。

- 1 ソース(CD、MD、ラジオなど)を再生/受信する。
- 2 MENUボタンを押す。
- 3 ジョグローラーを回して「DSO Tune」を選ぶ。

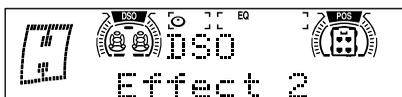


- 4 ジョグローラーを押す。
- 5 SEEK/AMSボタンの+または-を押して、DSOモードを選ぶ。



- 6 ジョグローラーを押す。
- 7 ジョグローラーを回して、音像定位の上下を調節する。

音像定位は1から3の範囲で設定でき、値が大きくなるほど音像定位は高くなります。



- 8 ジョグローラーを押す。
通常の画面が表示されます。

初期設定(工場出荷状態)に戻るには
設定の手順7でジョグローラーを2秒以上押します。

ご注意

この機能はソースごとに設定することはできません。

ちょっと一言

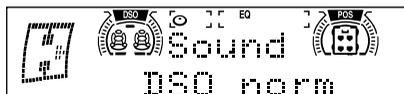
トゥイーターを接続していないときでも、音質が変わります。

トゥイーターに適したDSOの設定

1 ソース(CD、MD、ラジオなど)を再生/受信する。

2 MENUボタンを押す。

3 ジョグローラーを回して「DSO」を選ぶ。



4 SEEK/AMSボタンの+を押して「norm」または「soft」を選ぶ。

norm 通常のDSO

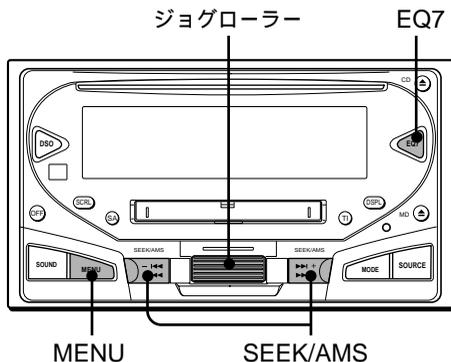
soft トゥイーターを接続しているときに適したDSO

5 ジョグローラーを押す。

通常の画面が表示されます。

イコライザーを使う (EQ7)

本機には音楽のジャンルに合わせた7種類のイコライザーカーブが用意されています。また、それらにお好みの変更を加えたイコライザーカーブを登録できます。



ご注意

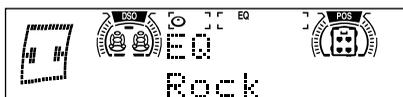
DSO設定中はDSOの効果を最適化するためにイコライザーの効果を抑えています。

ちょっと一言

3秒以上ボタン操作をしないと、通常の画面に戻りません。

イコライザーカーブを選ぶ

- 1 設定したいソース(CD、MD、ラジオなど)を再生/受信する。
- 2 EQ7ボタンを押して「EQ」にする。
- 3 3秒以内にSEEK/AMSボタンまたはEQ7ボタンを繰り返し押して、EQモードを選ぶ。



押すごとに

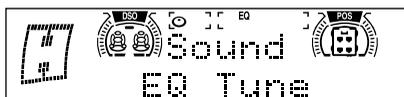
→ Vocal ↔ Club ↔ Jazz ↔ New age
→ Xplod ↔ off ↔ Custom ↔ Rock
と切り換わります。

約3秒後に、通常の画面が表示されます。

イコライザーを解除するには
手順2で「off」を選びます。

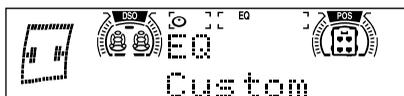
好きなイコライザーカーブを登録する

- 1 設定したいソース(CD、MD、ラジオなど)を再生/受信する。
- 2 MENUボタンを押す。
- 3 ジョグローラーを回して「EQ Tune」を表示させる。



- 4 ジョグローラーを押す。

- 5 SEEK/AMSボタンの+または-を押して、イコライザーカーブを選ぶ。



- 6 ジョグローラーを押す。

- 7 SEEK/AMSボタンの+または-を押して周波数を選ぶ。

押すごとに

62 Hz ↔ 157 Hz ↔ 396 Hz ↔ 1.0 kHz ↔
2.5 kHz ↔ 6.3 kHz ↔ 16 kHz

と切り換わります。

- 8 ジョグローラーを回して、レベルを調整する。

手順7と8を繰り返して、イコライザーカーブを調節します。

- 9 ジョグローラーを押す。

各プリセットを初期設定(工場出荷状態)にするには設定の手順7でジョグローラーを2秒以上押しします。

ご注意

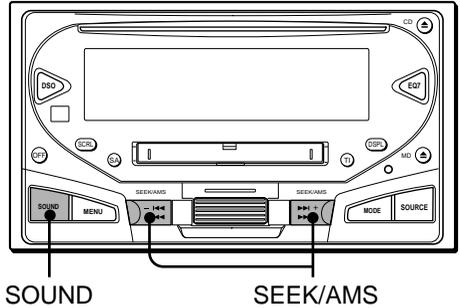
EQ offでは、イコライザーカーブの調節はできません。

ちょっと一言

- レベルの調整可能範囲は ±12dBです。
- カードリモコンで手順8を操作するときは↑/↓ボタンを使います。

音のバランスや音質を設定する

(バランス)(ATT)
(ソースサウンドメモリー)



ご注意

BALはソースごとに設定することはできません。

ちょっと一言

- SOUNDボタンを押すごとに
POS → BAL → Front → Rear → Sub
と切り換わります。
- 3秒以上ボタン操作をしないと、通常の画面に戻ります。

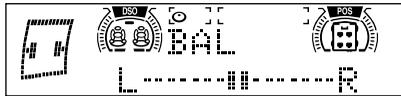
ちょっと一言

- ワイヤレスロータリーコマンダーのATTボタンでも操作できます。
- 本機のナビ用ATT入力端子とソニー製カーナビシステムとを接続していると、カーナビシステムの設定により、音声案内時、自動的にカーステレオの音量が下がります。(ナビATT機能)

出力バランスを調節する

左右のスピーカー出力のバランスを調節することができます。

- 1 SOUNDボタンを繰り返し押し、「BAL」にする。



- 2 SEEK/AMSボタンの+または-を押して出力バランスを調節する。

約3秒後に、通常の画面に戻ります。

音量を瞬時に小さくする

別売りのカードリモコンのATTボタンを押す。

「ATT on」と表示され、自動的に音量を下げます。

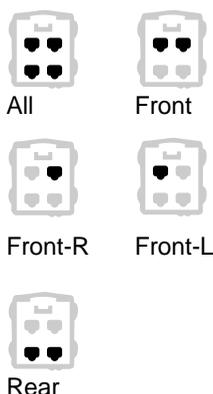
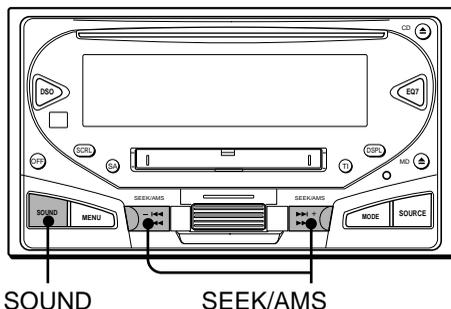
もとの音量に戻すには、ATTボタンをもう一度押します。
「ATT off」と表示され、もとの音量に戻ります。

ソースごとに音響効果を記憶する

本機ではソース(FM、AM、CD、MD、TV、Video)ごとにDSOやイコライザーの設定を自動的に記憶しています(ソースサウンドメモリー)。それぞれのソースに合わせた最適な音質で再生することができます。

リスニングポジションを設定する (POS)

聞き手の位置 (リスニングポジション) を選ぶと、各スピーカーからの音の到達時間を調節し、自然な音像定位を得ることができます。本機には5種類のリスニングポジションが用意されています。



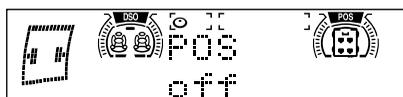
ちょっと一言

- SOUNDボタンを押すごとに
POS → BAL → Front → Rear → Sub
と切り換わります。
- 3秒以上ボタン操作をしないと、通常の画面に戻ります。

設定を選ぶ

設定の種類	設定内容
off	ポジション設定解除
All	全席 (運転席/助手席/後席)
Front	前席 (運転席/助手席)
Front-R	前方右 (運転席)
Front-L	前方左 (助手席)
Rear	後席

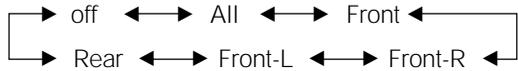
- 1 ソース (CD、MD、ラジオなど) を再生/受信する。
- 2 SOUNDボタンを繰り返し押し、「POS」を表示させる。



リスニングポジションを設定する(つづき)

- 3 SEEK/AMSボタンの+または-を押してリスニングポジションを選ぶ。

押すごとに



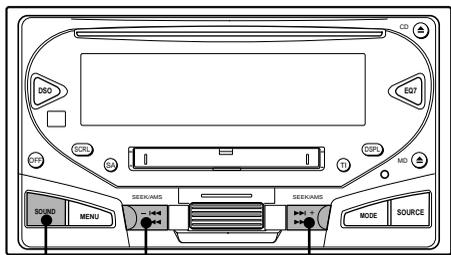
と切り換わります。

約3秒後に、通常の画面が表示されます。

リスニングポジション設定を解除するには
設定の手順3で「off」を選びます。

スピーカーの出力を設定する

フロントまたはリア音声出力端子に接続したスピーカーの周波数特性に合わせて、出力レベルおよび周波数帯域を調節することができます。



SOUND

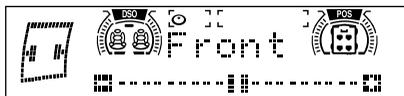
SEEK/AMS

ちょっと一言

- SOUNDボタンを押すごとに
POS → BAL → Front → Rear → Sub
と切り換わります。
- 3秒以上ボタン操作をしないと、通常の画面に戻ります。

出力レベルを調整するには

- 1 ソース（CD、MD、ラジオなど）を再生/受信する。
- 2 SOUNDボタンを繰り返し押し、「Front」または「Rear」にする。



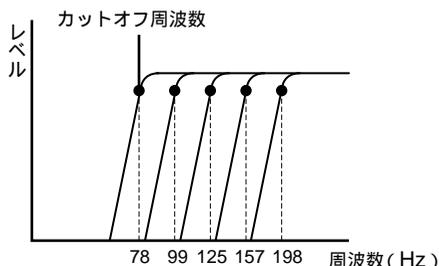
- 3 SEEK/AMSボタンの+または-を押して出力レベルを調整する。

約3秒後に、通常の画面に戻ります。

スピーカーの出力を設定する(つづき)

フロント/リアスピーカー出力のカットオフ周波数を選ぶ

高音質スピーカーの性能を生かしきるためフロントとリアを独立してカットオフ周波数を調整できます。カットオフ周波数を調整することにより、低い周波数成分をカットし、フロント/リアスピーカーの設置場所を意識させない、歯切れの良い中高音を作り出すことができます。たとえば、78Hzを選ぶと、78Hz以下の音が除かれます。



- 1 ソース(CD、MD、ラジオなど)を再生/受信する。
- 2 MENUボタンを押す。
- 3 ジョグローラーを回して、「Front HPF」または「Rear HPF」を選び、ジョグローラーを押す。



- 4 SEEK/AMSボタンの+を押してカットオフ周波数を選ぶ。
- 5 ジョグローラーを回して出力レベルを調整する。
- 6 最後に、ジョグローラーを押す。
通常の画面に戻ります。

ちょっと一言

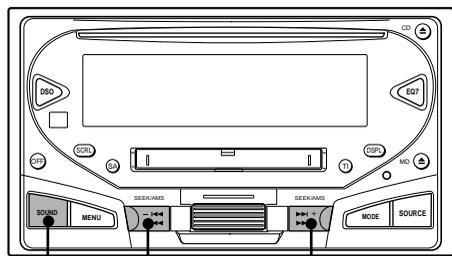
- SEEK/AMSボタンの+または-を押すごとに
off(初期値) ↔ 78Hz ↔
99Hz ↔ 125Hz ↔
157Hz ↔ 198Hz
と変わります。
- 出力レベルの調整可能範囲は±12dBです。(- 12dBの下はATTと表示)
- カードリモコンで手順5を操作するときは↑/↓ボタンを使います。

サブウーファー (モノラル)の 出力を設定する

サブウーファー(モノラル)音声出力端子に接続したサブウーファーの周波数特性に合わせて、出力レベルを調節することができます。

ちょっと一言

- SOUNDボタンを押すごとに
POS → BAL → Front → Rear → Sub
と切り換わります。
- 3秒以上ボタン操作をしないと、通常の画面に戻ります。

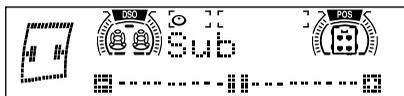


SOUND

SEEK/AMS

出力レベルを調整するには

- 1 ソース(CD、MD、ラジオなど)を再生/受信する。
- 2 SOUNDボタンを繰り返し押し、「Sub」にする。



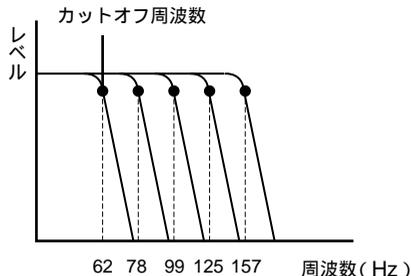
- 3 SEEK/AMSボタンの+または-を押して出力レベルを調整する。

約3秒後に、通常の画面に戻ります。

サブウーファーの出力を設定する(つづき)

カットオフ周波数を選ぶ

音の指向性(方向)は高い周波数成分に支配されます。サブウーファーのカットオフ周波数を調整することにより、高い周波数成分をカットし、サブウーファーの設置場所を意識させない、歯切れの良い重低音を作り出すことができます。たとえば、62Hzを選ぶと、62Hz以上の音が除かれます。



- 1 ソース(CD、MD、ラジオなど)を再生/受信する。
- 2 MENUボタンを押す。
- 3 ジョグローラーを回して「Sub LPF」を選び、ジョグローラーを押す。



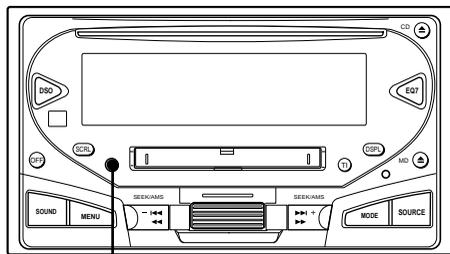
- 4 SEEK/AMSボタンの+または-を押してカットオフ周波数を選ぶ。
- 5 ジョグローラーを回して出力レベルを調整する。
- 6 最後に、ジョグローラーを押す。
通常の画面に戻ります。

ちょっと一言

- SEEK/AMSボタンの+または-を押すごとに
62Hz ↔ 78Hz ↔
99Hz ↔ 125Hz ↔
157Hz ↔ off(初期値)
と変わります。
- 出力レベルの調整可能範囲は±12dBです。(- 12dBの下はATTと表示)
- カードリモコンで手順5を操作するときは↑/↓ボタンを使います。

スペクトラムアナライザーを選ぶ(SA)

刻々と変化する音声信号レベルをスペクトラムアナライザーでリアルタイムに表示します。表示パターンは8種類の中から選ぶことができます。



SA

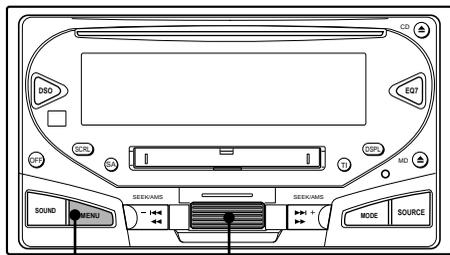
ご注意

- 表示パターンによっては、ディスク名、トラック名、再生経過時間、周波数、放送局名などを表示しない場合があります。
- Motion 1または2にしている場合(58~59ページ)は、スペクトラムアナライザーが表示されないことがあります。

再生/受信中にSAボタンを繰り返し押す。

設定の種類	モード名称
SA 1	Mist
SA 2	Side Wave
SA 3	Volcano
SA 4	Falls
SA 5	Slide
SA 6	Xplod
SA 7	Wave
SA off	設定解除
SA Auto	SA 1~7のパターンを順に表示します。

音や表示などの 設定を換える



MENU

ジョグローラー

Set upメニュー

設定の種類	設定内容
「Beep」	操作ボタンを押したときの「ピッ」という音をon/offする。
「Key ill」	ボタン照明をon/Autoすることができます。 「on」 → 車の照明に関係なく点灯する。 「Auto」 → 車の照明をONにすると点灯する。 (車の照明電源に接続されている場合のみ)

Displayメニュー

設定の種類	設定内容
「D.Info」	常に時計を表示させる。 (Motion offまたはMotion 1の場合のみ)
「Dimmer」	表示窓の減光を設定する。 「Auto」 → 車の照明をONにすると表示が減光する。 (車の照明電源に接続されている場合のみ) 「on」 → 車の照明に関係なく表示が減光する。 「off」 → 車の照明に関係なく表示が減光しない。
「Display」	画面表示をon/offすることができます。 「on」 → 常時、表示する。 「off」 → ボタン操作後、消灯する。 もう一度いずれかのボタン操作をすると、約5秒間表示されます。
「Motion」	画面表示パターンを選べます。 「1」 → スクロール 「2」 → ヘリコプター

ちょっと一言

別売りのカードリモコンの
↑/↓ボタンを2秒以上押すと、メニュー項目のカテゴリ*がスキップします。

- * Set up: 一般設定
- Dspl: 表示の設定
- P.Mode: 再生 / 受信の設定
- Sound: 音質 / 音響の設定
- Edit: 表示文字の設定

設定を換える

- 1 MENUボタンを押す。

- 2 ジョグローラーを回して設定したい項目を選ぶ。

- 3 SEEK/AMSボタンの + または - を押して調節したい設定にする。
(例 : 「on」または「off」)

- 4 ジョグローラーを押す。

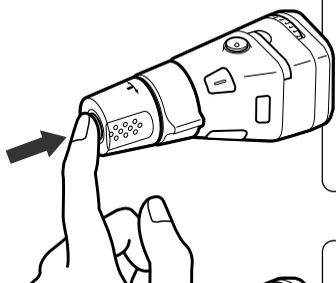
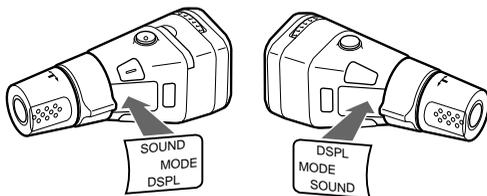
別売りのカードリモコンで操作するには

- 1 MENUボタンを押す。
- 2 ↑/↓ボタンを押して設定したい項目を選ぶ。
- 3 ←/→ボタンを押して調節したい設定にする。
- 4 ENTERボタンを押す。

ワイヤレスロータリーコマンダー (別売り)の操作

ワイヤレスロータリーコマンダーのシールについて

本機はワイヤレスロータリーコマンダー
(RM-X5S)で操作できます。ワイヤレス
ロータリーコマンダーを取り付ける向きに
合わせて、シールを貼ってください。

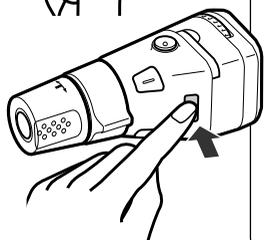


ソース

SOURCEボタンを押すと

本機の電源が入り、繰り返し押すとソースが
ラジオ(FM/AM) CD MD TV/Video* TEL*

と切り換わります。
* 別売りの機器を接続時のみ表示します。

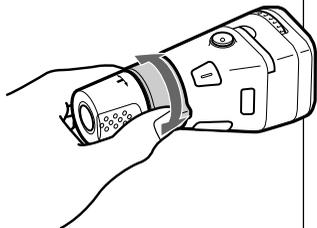


モード

MODEボタンを押すと

ラジオの時：FM ↔ AM
CDの時：CD1 → CD2* → ……
MDの時：MD1 → MD2* → ……
テレビの時*：TV ↔ Video
と切り換わります。

* 別売りの機器を接続時のみ表示します。

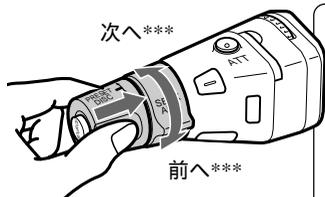


シーク/エーエムエス

SEEK/AMSつまみを短く回して離すと

ラジオ …… 自動的に放送局を受信する
 回し続けると特定の周波数に合わせられます。
CD/MD .. 曲の頭出しをする
 回し続けると早く送られ、離すと再生に戻ります。
テレビ* …… 自動的に放送局を受信する
 回し続けると特定のチャンネルに合わせられます。
TEL* …… 発信・着信履歴を呼び出す(最大10件まで)

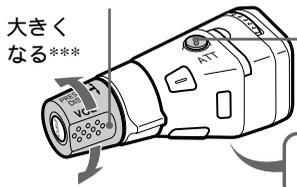
* 別売りの機器が接続されているとき。



ボリューム
VOLつまみを押しながら回すと
FM/AM/TV*... 登録した放送局を順に受信する
MD/CD ディスクを切り換える**

- * 別売りの機器が接続されているとき。
- ** 別売りのソニー製CD/MDチェンジャーが接続されているとき。

音量を調節する(ボリュームを回す)

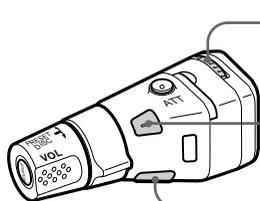


音量を瞬時に下げる(ATTボタンを押す)
解除するにはもう一度押すか、VOLつまみで音量を上げます。



再生/受信の停止(OFFボタンを押す)

*** 操作方向は初期設定ではハンドルコラムの左側での使用を想定した方向になっています。

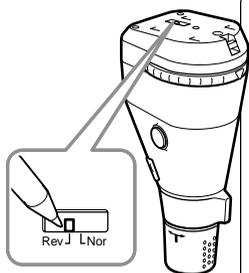


送信電波の方向を調節する(ダイヤルを回す)
取り付けた位置などで本体が反応しないときなどに調節します。

音量調節・音質選択する(SOUNDボタンを押す)
本体のSOUNDボタンと同じ動きをします。

画面表示を変える(DSPLボタンを押す)
本体のDSPLボタンと同じ動きをします。

つまみの操作方向を切り換える



運転席の左右どちら側に取り付けるかで、つまみの操作方向を逆に設定できます。

ボールペンの先などで底面の切り替えスイッチを「Nor」または「Rev」にする

「Nor」... ハンドルコラムの左側に取り付けたときの回転方向(初期設定)

「Rev」... ハンドルコラムの右側に取り付けたときの回転方向

ちょっと一言

リチウム電池の交換のしかたについては「使用上のご注意」(62ページ)をご覧ください。

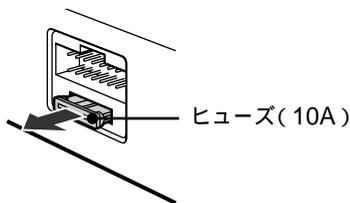
使用上のご注意

本体の表面を傷めないために

本体表面に殺虫剤やヘアスプレーがかかったり、防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品が長時間接触しないようにしてください。本体表面が変質、変形したり、塗装がはげたりすることがあります。

ヒューズについて

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記してある規定容量(アンペア数)のヒューズをお使いください。規定容量以上のヒューズや針金で代用すると故障の原因となるだけでなく大変危険です。



結露について

寒いときにヒーターをつけた直後など、CD/MDプレーヤー内部の光学系のレンズに露(水滴)が生じることがあります。このような現象を結露といいます。

結露したままですと、レーザーによる読み取りができず、CD/MDプレーヤーが動作しないことがあります。

周囲の状況にもよりますが、ディスクを取り出して放置しておけば約1時間ほどで結露が取り除かれ、正常に動作するようになります。もし何時間経過しても正常に動作しない場合はアフターサービスにお申しつけください。

表示窓の結露について

寒いところから暖かいところへ持ち込んだ場合などに、表示窓の内部に露が生じてくもることがあります。

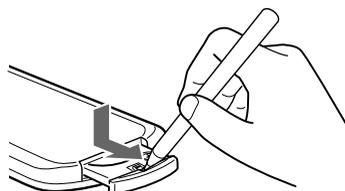
このような場合は、しばらく放置しておくことと結露が取り除かれ正常に戻ります。

カードリモコン/ワイヤレスロータリーコマンダー

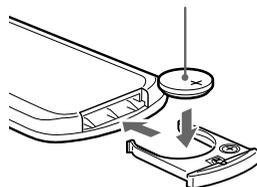
電池の入れかた

カードリモコン

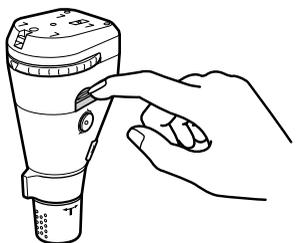
リチウム電池CR2025の⊕と⊖を正しく入れてください。



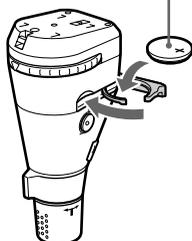
⊕を上向きにする



ワイヤレスロータリーコマンダー
リチウム電池CR2025の⊕と⊖を正しく入れ
てください。



⊕を上向きにする



電池の交換時期

電池が消耗するとボタンを押しても操作できないこともあります。普通の使いかたで約1年もちます(使用方法によっては短くなります)。カードリモコンやワイヤレスロータリーコマンダーがまったく動作しない場合は電池を交換し、動作を確認してください。

電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂などを避けるため、下記のことを必ずお守りください。

⚠ 警告

- 火の中に入れてない。ショートさせたり、分解、加熱しない。
- 電池は充電しない。
- 指定された種類の電池を使用する。
- ボタン型電池を誤って飲み込むことのないよう、電池は特に幼児の手の届かないところに置いてください。
- 万一、電池を飲み込んだ場合には、直ちに医師と相談してください。

⚠ 注意

- +と-の向きを正しく入れる。
- 電池を使い切ったとき、長時間使用しないときは、取り出しておく。

もし電池の液が漏れたときは、電池入れの液をよく拭きとってから、新しい電池を入れてください。万一、液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

カードリモコンについてのご注意

- ダッシュボードの上やハンドルの上など、直射日光の当たるところにカードリモコンを取り付けたり放置しないでください。熱によりカードリモコンが変形するおそれがあります。(特に夏期の直射日光の当たるダッシュボードの上はかなりの高温になりますのでご注意ください。)
- 直射日光の当たるところに駐車するときは、カードリモコンを取り付け場所から外し、グローブボックスの中など直射日光の当たらないところに保管してください。
- 直射日光下ではカードリモコンの信号が受信されにくくなることがあります。このようなときは、フロントパネルの受光部にカードリモコンを近づけて操作してください。

故障かな？

下記の処置を行っても効果がないときは、接続に問題があるか、故障と考えられます。テクニカルインフォメーションセンター、お買い上げ店またはお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

症状	原因・処置
音が出ない。	<ul style="list-style-type: none">• 音量を上げてください。• ATT機能を解除してください。• スピーカー接続時：スピーカー出力の設定が正しくない。 →2スピーカーで聞くときは、スピーカーバランスをフロント、あるいはリア側にしてください。• 別売りのMDチェンジャー - で長時間録音のMDを再生している。曲名表示に「LP：・・・」と出ている。別売りのMDチェンジャー - では長時間録音のMDは再生できません(2001年4月現在) →本機で再生してください。
メモリーの内容が消えてしまった。	<ul style="list-style-type: none">• リセットボタンを押した。• バッテリー用電源コードまたはバッテリーを外した。• 電源コードが正しく接続されていない。
共通 ボタンを押したときの「ピッ」という音が出ない。	<ul style="list-style-type: none">• 「ピッ」という音が出ない設定になっている。 →Beepの設定を「on」にしてください(58ページ)。• 内蔵アンプを使用せず、別売りのアンプを接続した場合は「ピッ」という音は出ません。
なにも表示されない。	<ul style="list-style-type: none">• Displayの設定が「off」になっている。 →Displayの設定を「on」にしてください(58ページ)。• OFFボタンを2秒以上押し続けて時計表示を消した状態にしている。 →もう一度OFFボタンを2秒以上押し続けて、時計表示を出してください。
電源が入らない。	<ul style="list-style-type: none">• 電源コードが正しく接続されていない。• 車のイグニッションキーにACCポジションがない車に取り付けている。 →SOURCEボタンを押すかディスクを挿入して電源を入れてください。

症状	原因・処置
勝手に「ATT」表示が出て音量が下がる。	<ul style="list-style-type: none"> 本機のナビ用ATT入力コードとソニー製カーナビシステムのATT出力コードが接続されていると、カーナビシステムの設定により、音声案内中「ATT」表示が出て音量下がります。 本機のナビ用ATT入力コードの先端部分が車の金属部にショートしている。 →コードの先端部分を絶縁テープ等でショートしないように保護してください。
ノイズが出る	アンテナコード、バスケーブル、RCAピンコードおよび電源コードなどの各コードは、できるだけ離して取り付け、配置してください。
共通 電源がOFFにならない。	車のイグニッションキーにACCポジションがない車に取り付けている。 →OFFボタンを2秒以上押し続けてください。
オートアンテナが上らない。	リレー内蔵のオートアンテナに接続していない。
ボタンを押しても動作しない。	リセットボタンを押してください。
ワイヤレスロータリーコマンダー(別売り)で操作できない。	ワイヤレスロータリーコマンダーの電波の送信方向が合っていない。 →「送信電波の方向を調節する」(61ページ)で合わせてください。
「-----」表示が消えない。	Name Edit(名前入力)モードに入った。 →本機のジョグローラーまたはカードリモコンのLISTボタンを2秒以上押し続けてください。
ディスクが入らない。 ディスクを入れてもすぐに出てくる。	<ul style="list-style-type: none"> すでに別のディスクが入っている。 ディスクを誤った向きに入れようとしている。 →ラベル面を上にして入れてください。
音がとぶ。 音が途切れる。 音が割れる。	<ul style="list-style-type: none"> CDが汚れている。 →ディスクをクリーニングしてください。 ディスクが傷ついている。 本機の取り付け角度が30°を越えている。 本機またはチェンジャーが正しく固定されていない。 MDではごくまれに録音機と本機との互換性により音がとぶことがあります。この場合、録音機のメーカー名と機種名をご確認のうえ、お近くのソニーサービス窓口へご相談ください。

CD/MD

故障かな?(つづき)

	症状	原因・処置
CD/MD	CD-RまたはCD-RWが再生できない。	<ul style="list-style-type: none"> 再生しようとしているCD-RまたはCD-RWがオーディオ用フォーマットになっていない。 ディスクの記録状態などが良くない。
	MDが再生できない。	何も録音されていないMDが入っている。 → 録音済みのMDに入れ換えてください。
ラジオ/テレビ	受信できない。 雑音しか出ない。	<ul style="list-style-type: none"> パワーアンテナコントロールコード(青色)または、アクセサリ電源(赤色)を、純正アンテナブスターの電源供給コード(車両側)に接続してください(リアまたは、サイドガラスに内蔵しているプリント線状のFM/AMアンテナの場合のみ)。くわしくは、お買い上げ店にご相談ください。 カーアンテナとの接続を確認してください。 オートアンテナが上がっていない。 → パワーアンテナコントロールリードの接続を確認してください。 周波数を確認してください。 IF機能が「Wide」になっている。 → 「Auto」にしてください(31ページ)。
	SEEK/AMSボタンを押しても聞きたい放送局で止まらない。	<ul style="list-style-type: none"> 「Local on」に設定している場合は電波の強い周波数のみ受信します。 → 「Local off」にしてください(30ページ)。 電波が弱くて自動選局できない。 → SEEK/AMSボタンを押し続けて周波数を合わせてください。
	ステレオ放送が聞きにくい。 「ST」表示が点滅する。	<ul style="list-style-type: none"> 周波数を確認してください。 電波が弱い。 → モノラルモードに設定してください(31ページ)。 DSOの設定を「off」にしてください(45ページ)。
	テレビのリセットボタンを押したとき、モニターに何も映らなくなったり本体のボタンが効かなくなる。	テレビのリセットボタンを押した後は必ず本機のリセットボタンを押してください。
サウンド設定	音がでない、または音が小さい。	バランス(BAL)、Front/Rearなどのスピーカー出力の調節で、特定のスピーカーの音量が小さくなった。 → BAL、Front/Rearを調節してください(50、53ページ)。

症状	原因・処置
通話相手の音声がかえらない。	<ul style="list-style-type: none"> • スピーカーの音量が最小になっている。 → 本機のジョグローラーで音量を調整してください。 • 走行ノイズなど、周囲の雑音が大きいき、マイクより音声入力があったものと認識して通話相手の音声を閉じてしまうことがあります。
ダイヤルしたが話中音がしてつながらない。	<ul style="list-style-type: none"> • 電話番号が間違っている(市外局番を入れていない)。 • 通話相手が圏外にいる。 • 電波の弱いところにいる。 → サービスエリア内でダイヤルしてください。 • アンテナを十分に伸ばしていない。
ジョグローラーを押しても発信できない。	<ul style="list-style-type: none"> • 携帯電話の発信制限やメモリ制限がかかっている。 • 携帯電話の簡易ダイヤルロックがかかっている。
携帯電話機に登録されたメモリが呼び出せない。	<ul style="list-style-type: none"> • 携帯電話の短縮ダイヤル使用制限などがかかっている。 • 携帯電話ハンズフリーユニットXCH-1000で取り込むことのできるプリセット番号以外の番号に登録されている。(40ページ) • 登録されているメモリ件数が多いため、呼び出すのに時間がかかっている。 → しばらくお待ちください。(最大5分)
電話がかかってこない。	携帯電話の着信制限がかかっている。
電話がかからない。	<ul style="list-style-type: none"> • 「ケンガイ」(圏外)や「ハッシンフノウ」(発信不能)が表示されている。 → しばらく待ってからかけ直してください。 • 回線設備が故障、または回線が非常に混み合っている。 → しばらく待ってからかけ直してください。
「No Phone」と表示される。	<p>携帯電話が接続されていない。 → 携帯電話を接続してください。</p>

故障かな?(つづき)

CD/MDのエラー表示

CD機器やMD機器が誤動作すると、アラーム音が鳴り、エラー表示が5秒間点滅します。

エラー表示	原因	処置
Blank	MDに何も録音されていない。	ほかのMDに入れ換える。
	ディスクが裏返しになっている。	ディスクを正しく入れ直す。
Error	CDが汚れている。	CDをクリーニングする。
	ディスクが何らかの原因で再生しない。	ほかのディスクに入れ換える。
High Temp	周囲の温度が50°C以上になった。	50°C以下に下がってから再生する。
NO Disc	チェンジャーにディスクが入っていない。	ディスクを入れる。
NO Mag	CD機器にディスクマガジンが入っていない。	ディスクマガジンにディスクを入れ、CD機器に入れる。
Not Ready	MDチェンジャー(MDX-40)のフタが開いている。あるいはディスクが正しく入っていない。	ディスクを正しく入れ直し、フタを閉める。
Push Reset	何らかの原因で動作しない。	本機のリセットボタンを押す。

保証書と アフターサービス

保証書(別に添付)

保証書は、所定事項の記入をお確かめのうえ、お買い上げ店からお受け取りください。内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

保証期間

お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

修理を依頼される前に「故障かな?」の項目に従って、故障かどうかをお調べください。直らないときは、テクニカルインフォメーションセンター、お買い上げ店またはお近くのサービス窓口(別紙)にご相談ください。

保証期間中

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

保証期間を過ぎたら

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間

この製品の補修用性能部品(機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後6年間保有しています。

部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

主な仕様

CDプレーヤー部

SN比	92dB
周波数特性	10~20,000Hz
ワウフラッター	測定限界以下

MDプレーヤー部

SN比	92dB
周波数特性	10~20,000Hz
ワウフラッター	測定限界以下

チューナー部

FM

受信周波数	76~90MHz (テレビ1~3ch)
中間周波数	10.7MHz
実用感度	8dBf
周波数特性	30~15,000Hz
実効選択度	75dB(400kHz)
SN比	66dB(ステレオ) 72dB(モノラル)
ひずみ率(1kHz)	0.6%(ステレオ) 0.3%(モノラル)
チャンネルセパレーション	35dB以上(1kHz/WIDE時)

AM

受信周波数	522~1,629kHz
中間周波数	10.7MHz/450kHz
実用感度	30 μ V

グラフィックイコライザー部

中心周波数	63Hz、157Hz、396Hz、 1kHz、2.5kHz、6.3kHz、 16kHz
可変範囲	\pm 12dB

アンプ部

適合インピーダンス	4~8
最大出力	50W \times 4(4 負荷1kHz)

主な仕様(つづき)

電源部、その他		別売品	CDチェンジャー(10枚)
電源	DC12Vカーバッテリー (マイナスアース)		CDX-848X、 CDX-747Xなど
出力端子	サブウーファー(モノラル) 音声出力端子、 アンプコントロール、 アンテナコントロール		MDチェンジャー(6枚) MDX-65など
入力端子	バス音声入力端子、 バスコントロール入力端子、 ATT入力端子(ナビ用) FM/AMアンテナ入力端子 (Jaso用) イルミコントロール入力端子		PDCハンズフリーユニット XCH-1000 パワーアンプ XM-405EQX、 XM-1002HX/Rなど
本体寸法	約178×100×186mm (幅/高さ/奥行き)		ソースセレクター XA-C30
取付寸法	約178×100×165mm (幅/高さ/奥行き)		カードリモコン RM-X112
質量	約2.1kg		ワイヤレスロータリーコマ ンダー RM-X5S
付属品	取り付け/接続部品(一式) 取扱説明書(一式) ソニーご相談窓口のご案内(1) 保証書(1)		バスケーブル(RCAピンコード 付属) RC-61(1m)、 RC-62(2m) バス延長コード RC-U305(0.5m) RCAピンコード RC-63(1m)、 RC-64(2m)、 RC-65(5m) 電源コード RC-39

ご注意

本機には別売りのデジタルリアンプやイコライ
ザーは接続できません。

本機は、ドルビーラボラトリーズライセンス
コーポレーションの米国及び外国特許に基づく許
諾製品です。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更
することがありますが、ご了承ください。

索引

五十音順

ア行

イコライザー	48~49
エラー表示	68
オートスクロール	20
音量	10~11

カ行

カスタムファイル	23~26
----------	-------

サ行

サイマルプレイ	39
サブウーファー出力	55~56
スクロール	19
ステーションメモ	33~34
シャッフル	22
ステレオ放送	31
スピーカーバランス	50
スペクトラムアナライザー	57
ソースサウンドメモリー	50

タ行

着信履歴	40、43~44
ディスクメモ	23~24
テレビ	36~39
名前をつける	37
登録	36~37
トゥイーター	47
登録	
自動登録	28
ラジオ局	28、32
テレビ局	36~37
道路交通情報(TI)	11、30
時計	16

ナ行

名前

消去する	24、34
つける	23、33、37
表示する	19、27、29、35

ハ、マ、ヤ行

発信履歴	40、43~44
バランス	50
バンク	25~26
ハンズフリーユニット	40~44
ビデオ	38
ヒューズ	62
表示窓	
メニュー	58
CD/MD	17、19
ラジオ	29
ベストチューニングメモリー (BTM)	28
ボタンの音	58~59

ラ、ワ行

ラジオ	11、28~35
自動選局	30
登録	28、32
名前で探す	35
名前を消去する	34
名前をつける	33
リスニングポジション	
	51~52
リスト	27、35
リセット	9
リピート	21
リモコン	
カードリモコン	
	14~15、62~63
ワイヤレスロータリー	
コマンダー	60~63

アルファベット順

Auto Memory	36
A.Scr1	20
ATT	50
BAL	50
Bank Sel	25
Beep	58~59
B.T.M	28
CD/MD	10、17~27
名前で探す	27
名前を消去する	24
名前をつける	23
CD TEXT	17、19
Clock	16
Dimmer	58~59
D.Info	58~59
Display	58~59
DSO	45
DSO Tune	46
EQ7	48
EQ Tune	49
Front	51~54
Front HPF	54
IF Auto	31
Key ill	58~59
Local	30
MDLP(LP2/LP4)	19
Mono	31
Motion	58~59
Name Delete	24、34
POS	51~52
Rear	51~54
Rear HPF	54
Repeat	21
SA	57
Shuffle	22
Sub	55~56
Sub LPF	56

ご案内

ソニーではお客様技術相談窓口として

「テクニカルインフォメーションセンター」

を開設しています。

お使いになってご不明な点、技術的なご質問、故障と思われるときの相談は下記までお問い合わせください。

テクニカルインフォメーションセンター

電話：048-794-5194

受付時間：月～金 9:00～18:00

（祝日、年末年始、弊社休日を除く）

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

- 型名
- 故障状態：できるだけ詳しく
- お買い上げ年月日

ソニー株式会社

〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

お問い合わせはおお客様ご相談センターへ

● ナビダイヤル…………… 0570-00-3311

（全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます）

● 携帯電話・PHSでのご利用は…03-5448-3311

● Fax……………0466-31-2595

受付時間：月～金 9:00～20:00、土・日・祝日 9:00～17:00

<http://www.sony.co.jp/>

この説明書は再生紙を使用しています。

Sony Corporation Printed in Japan

* 1-3-228-996-02*⁽³⁾